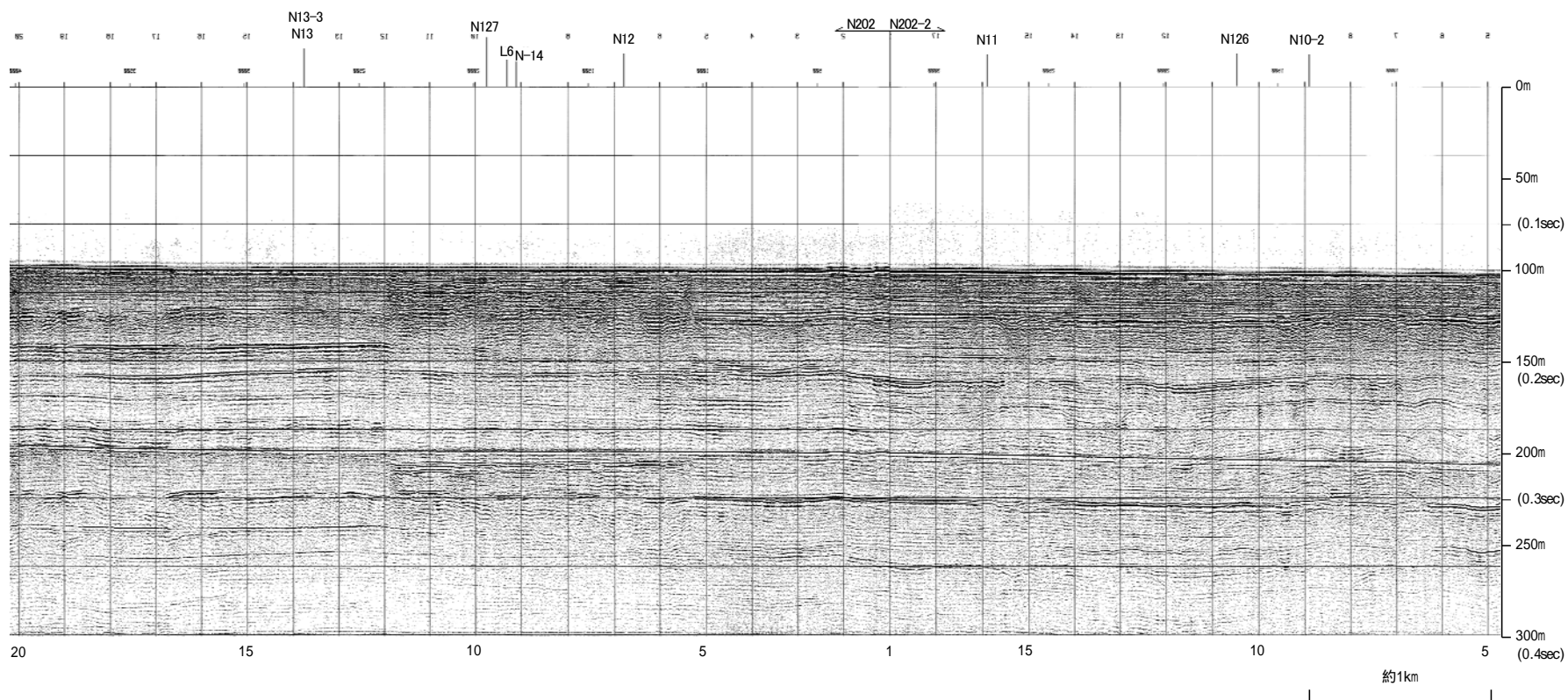


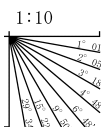
産総研ブーマー N202,N202-2

←ENE

WSW→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

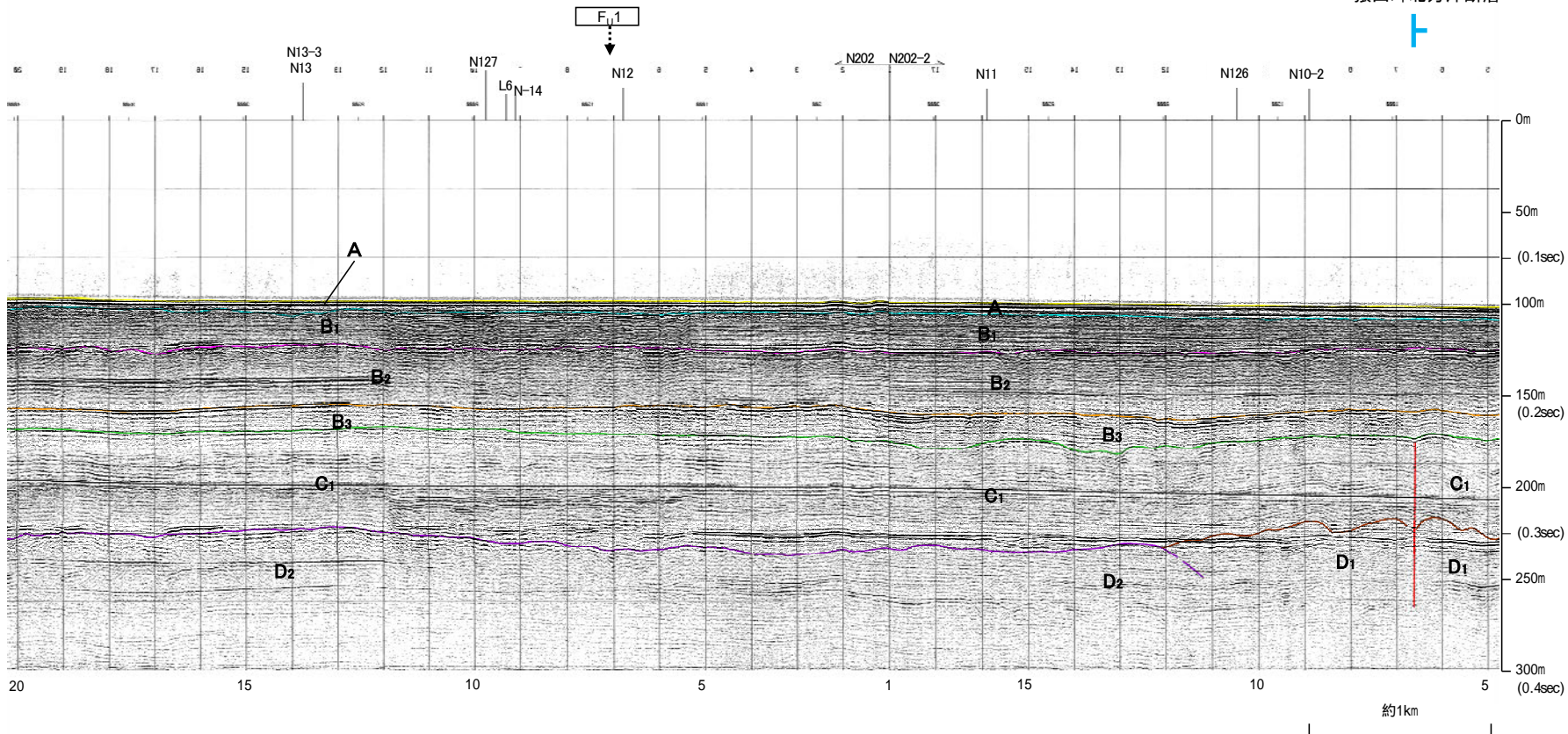


産総研ブーマー N202,N202-2

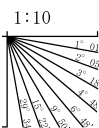
←ENE

WSW→

猿山岬北方沖断層



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層

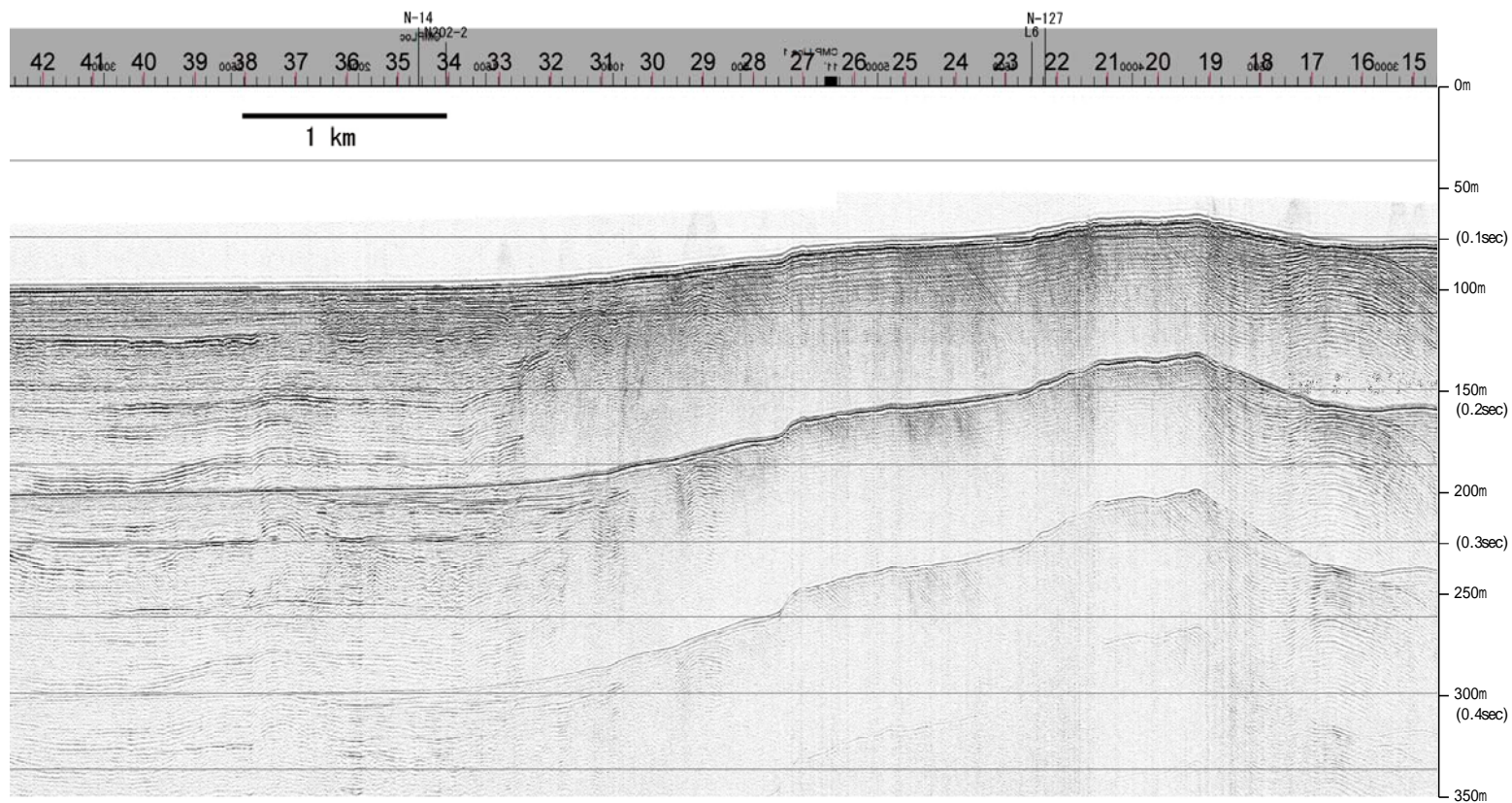


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

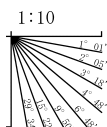
産総研ブーマー N12

←NW

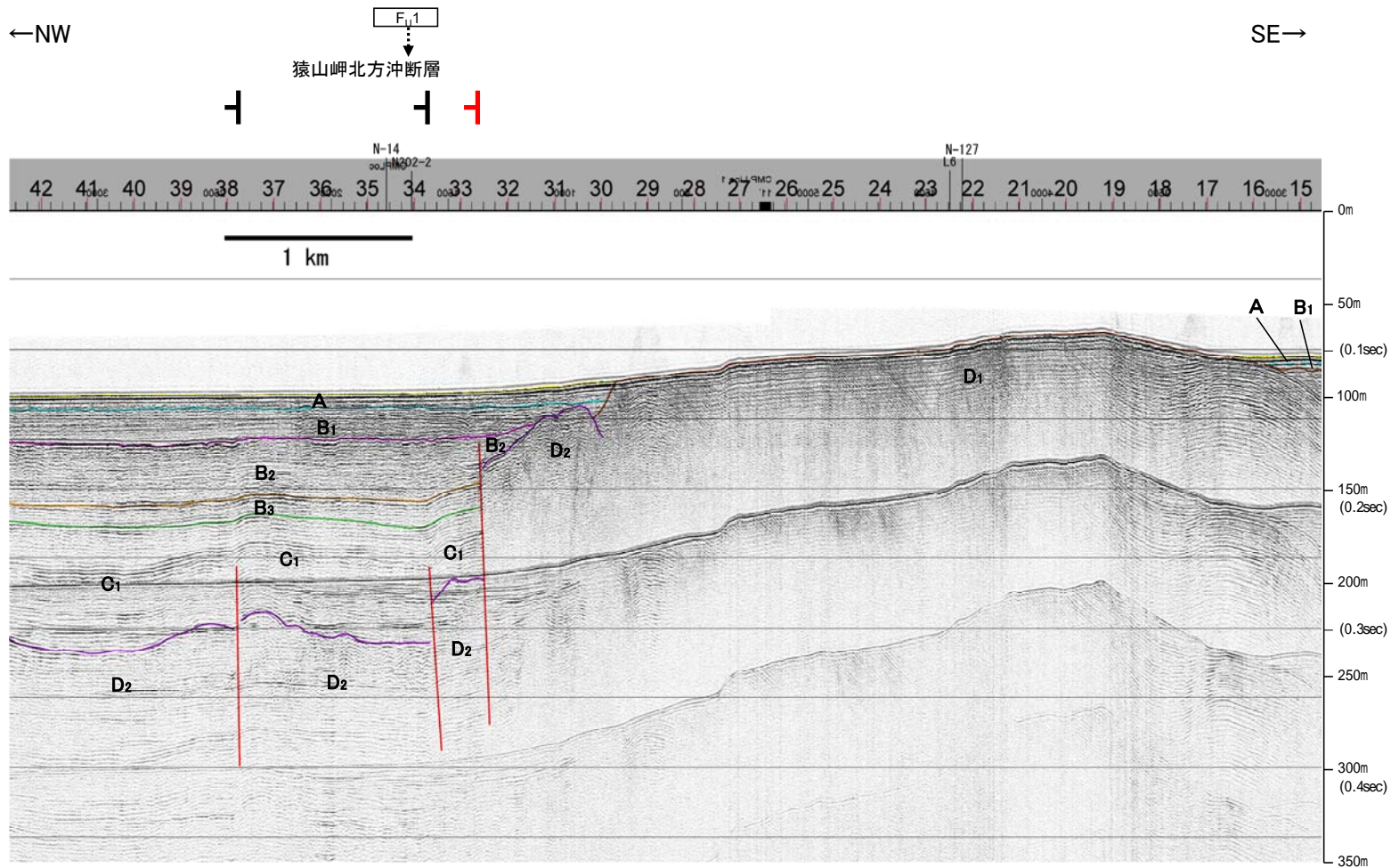
SE→



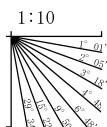
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
第三紀	先第三紀	D層	



産総研ブーマー N12

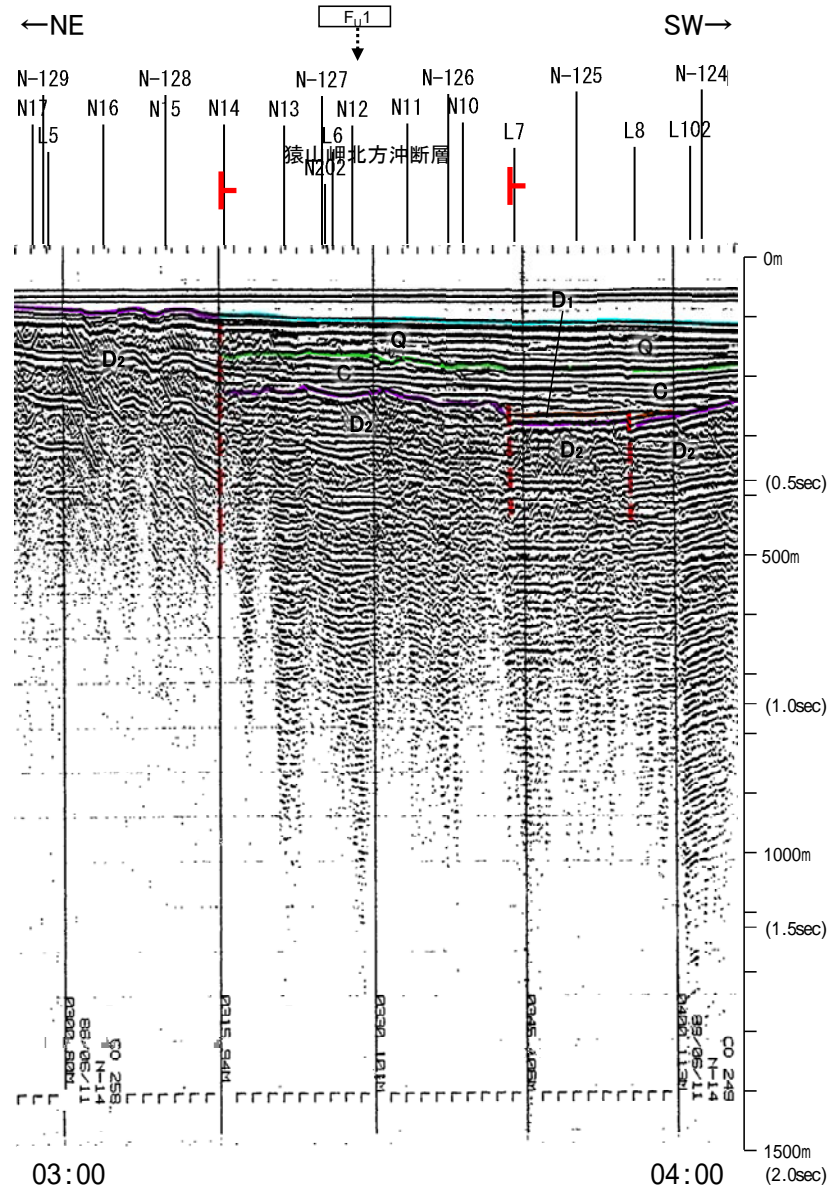
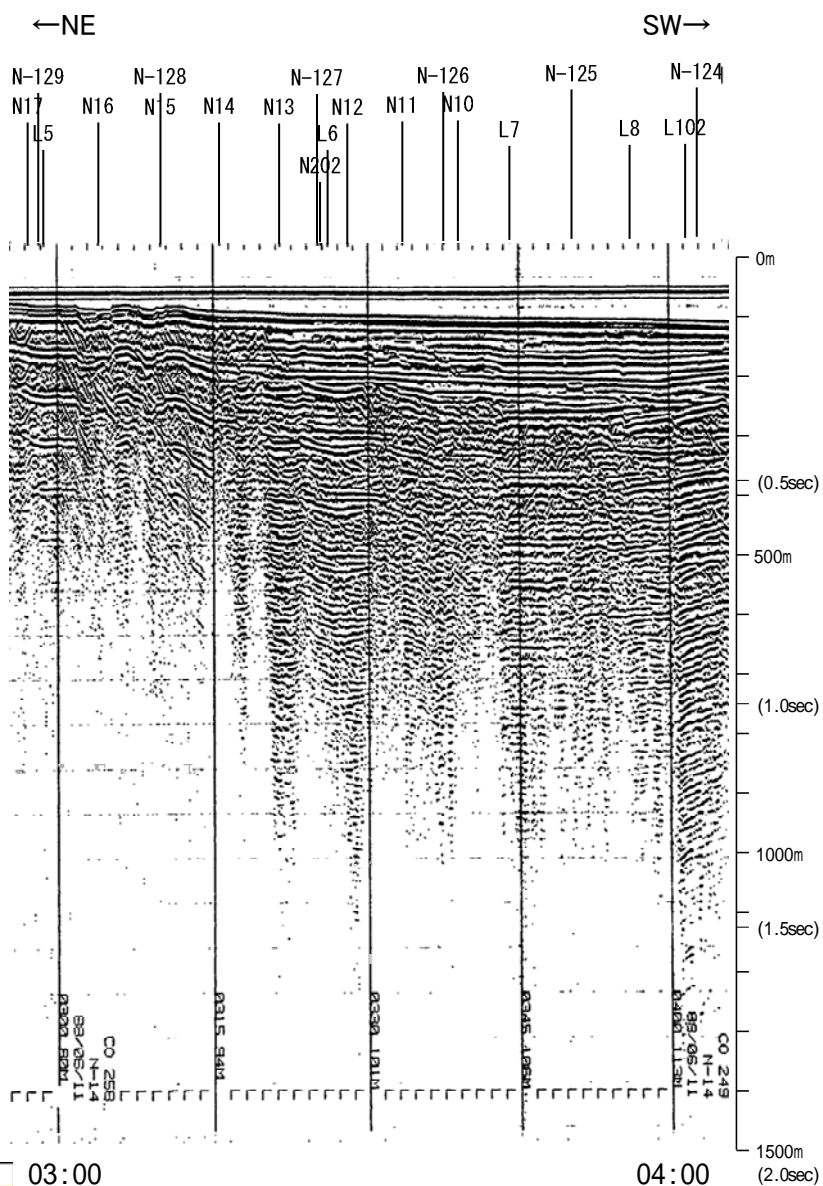


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀		D ₂ 層

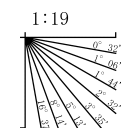


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-14



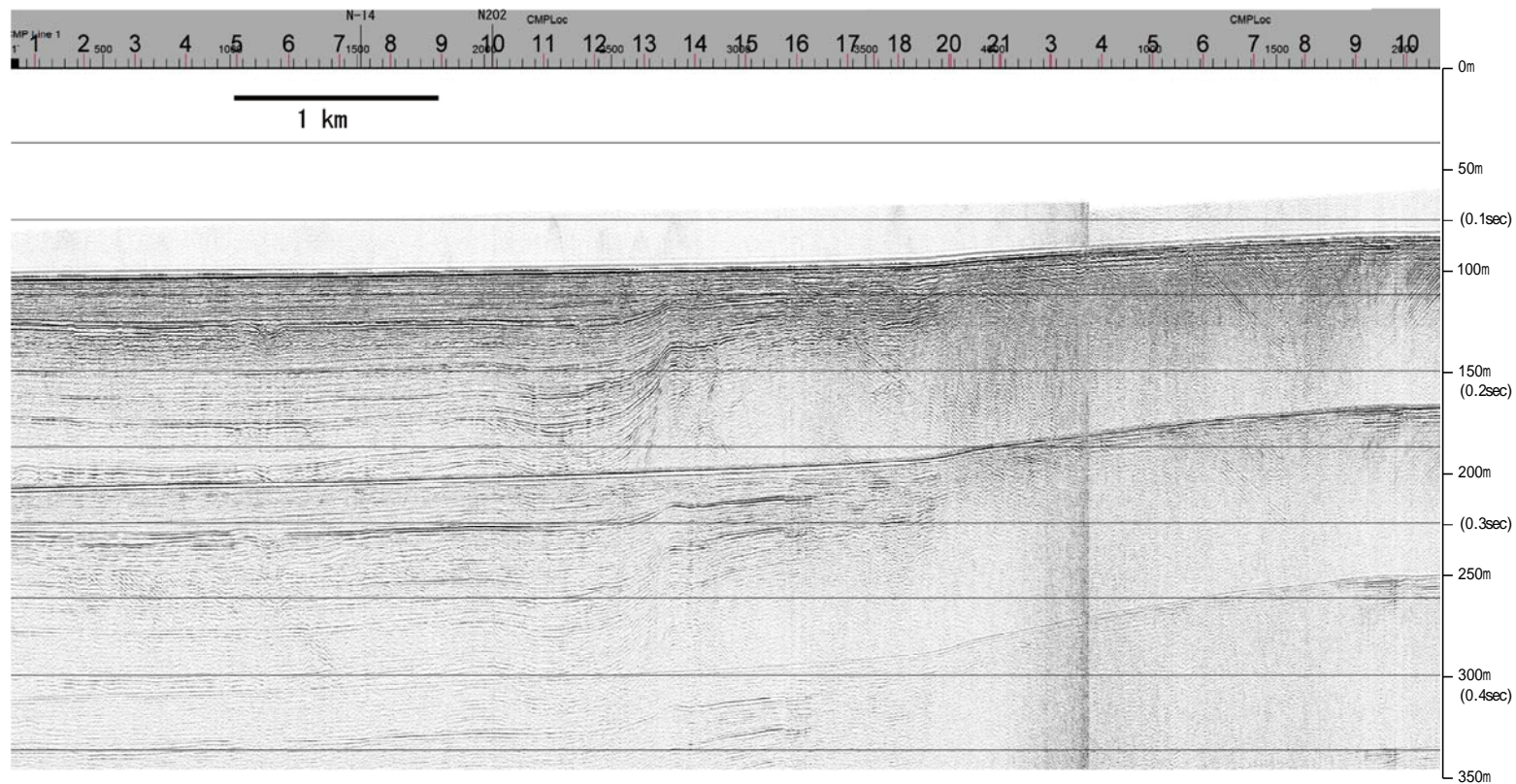
地質時代	地層名	
第四紀 世	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	B ₄ 層
C層		
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀	D ₃ 層	



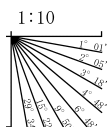
産総研ブーマー N11,N11-2

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

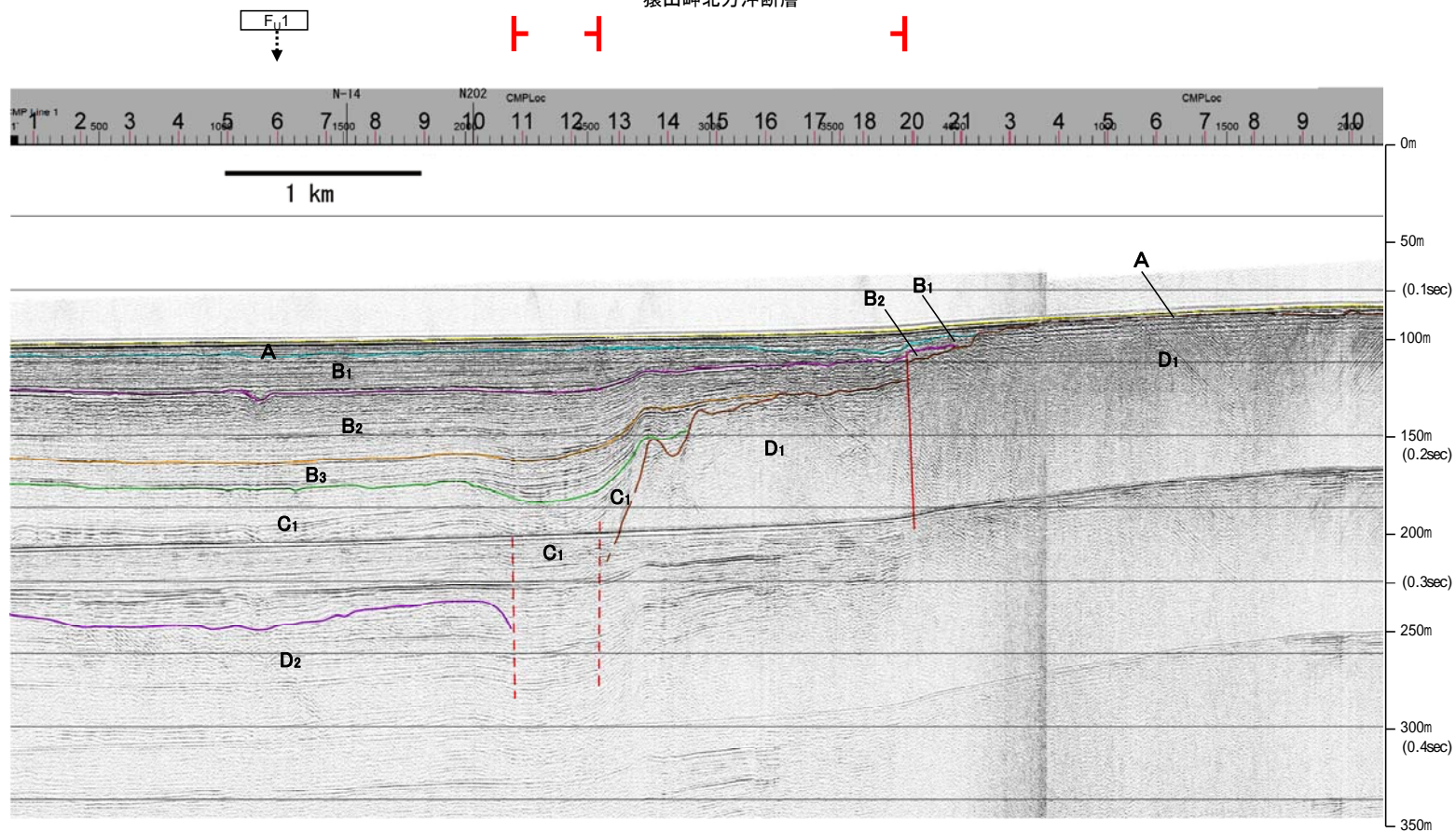


産総研ブーマー N11,N11-2

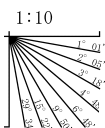
←NW

SE→

猿山岬北方沖断層

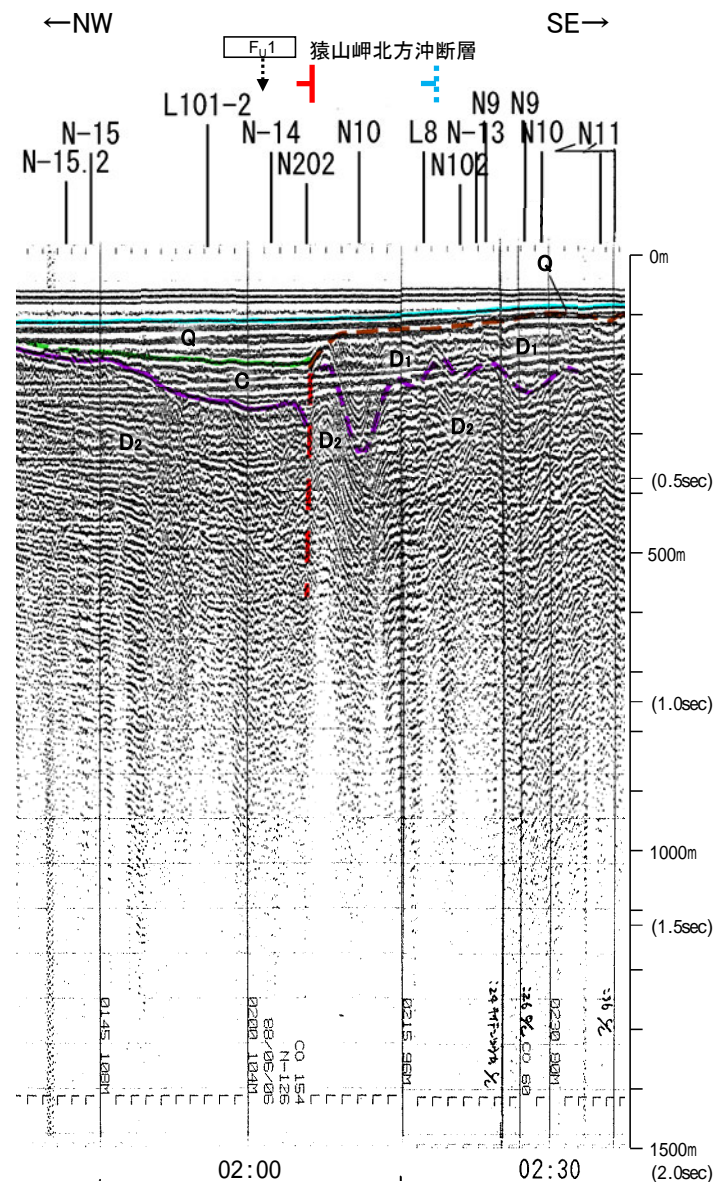
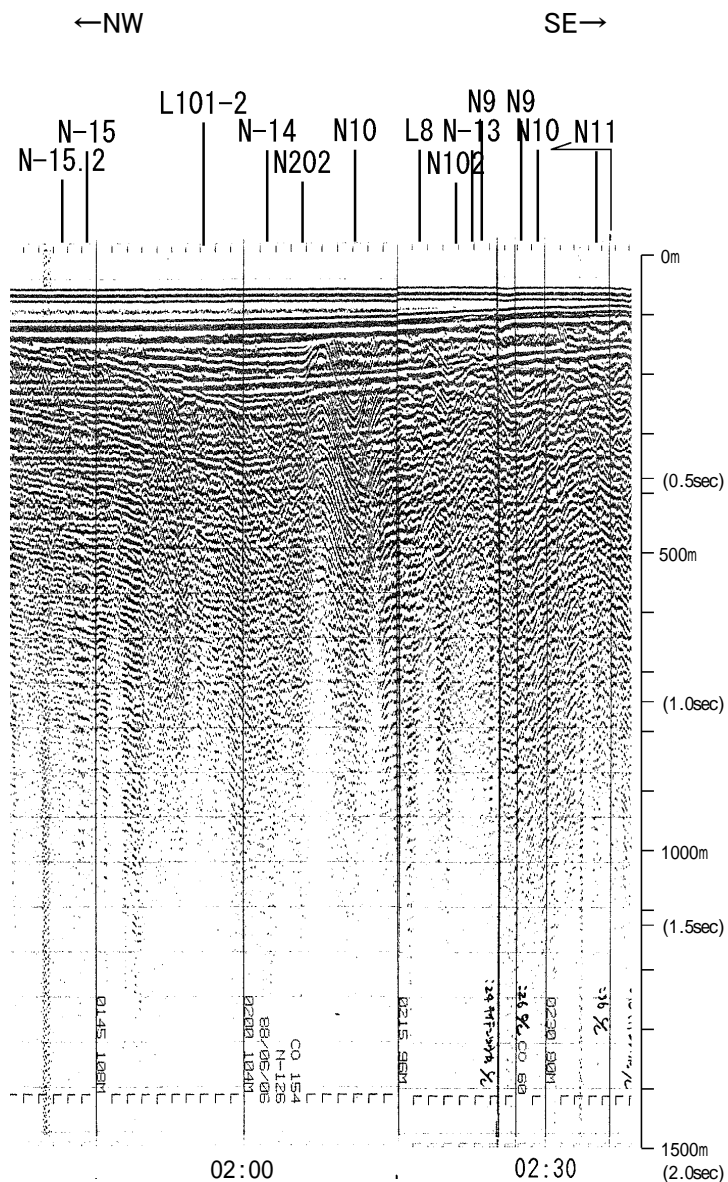


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

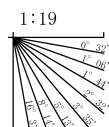


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-126



地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B層
	B層
	B層
	B層
前期	C層
	C層
中新世	D層
	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

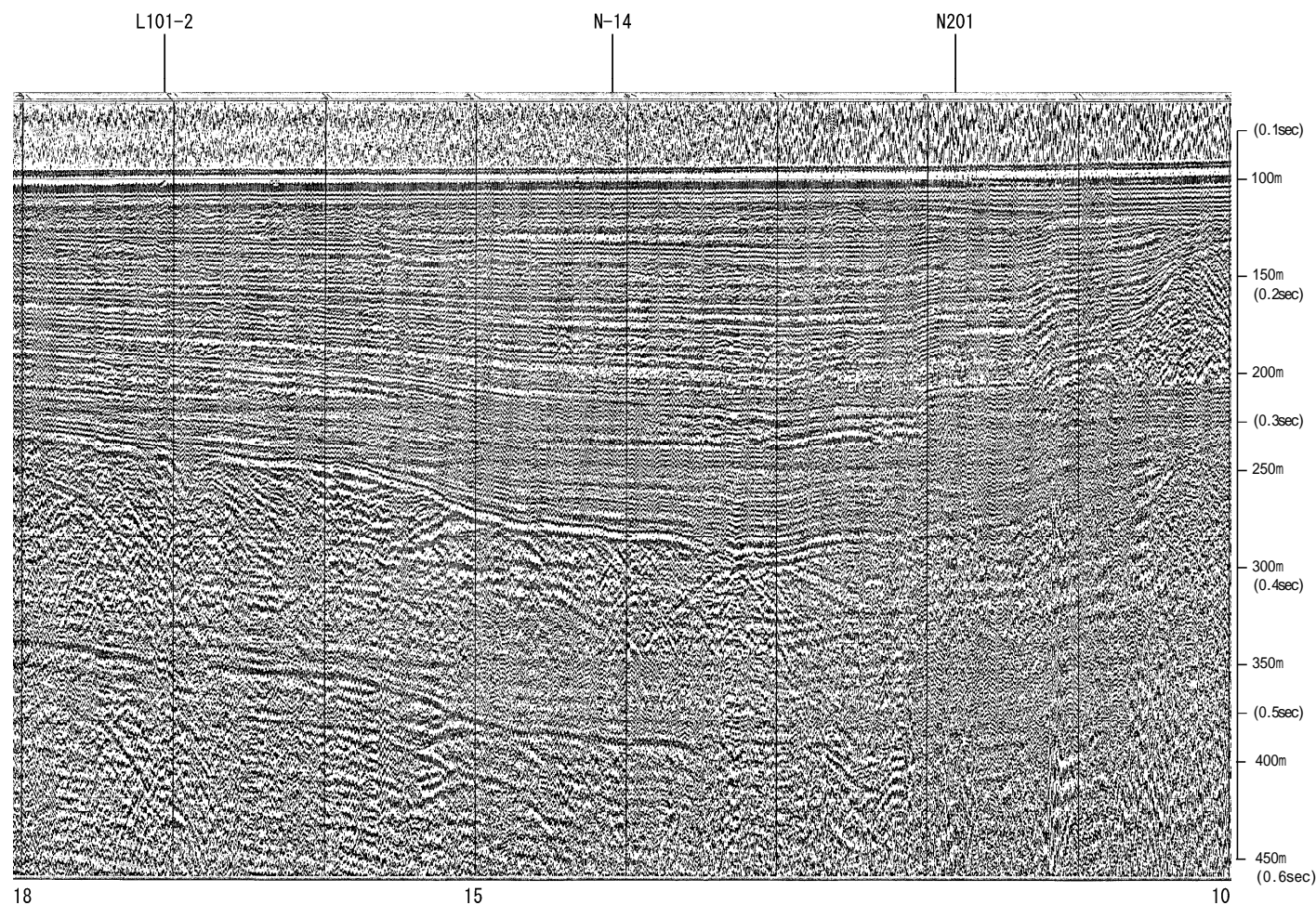


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

三澤(1997)ウォーターガン L7

←NW

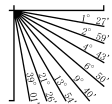
SE→



約500m

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

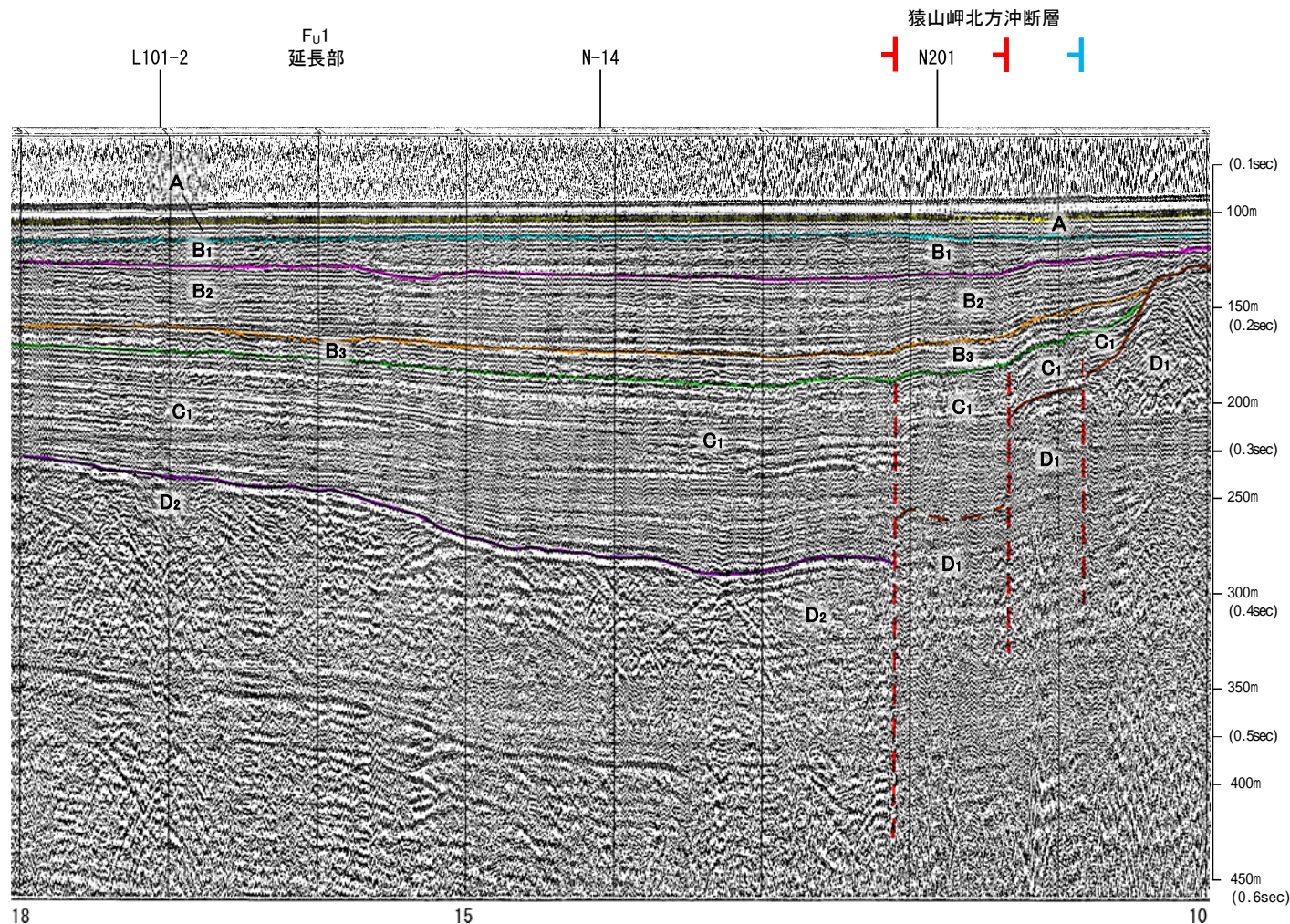
1:7



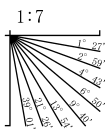
三澤(1997)ウォーターガン L7

←NW

SE→

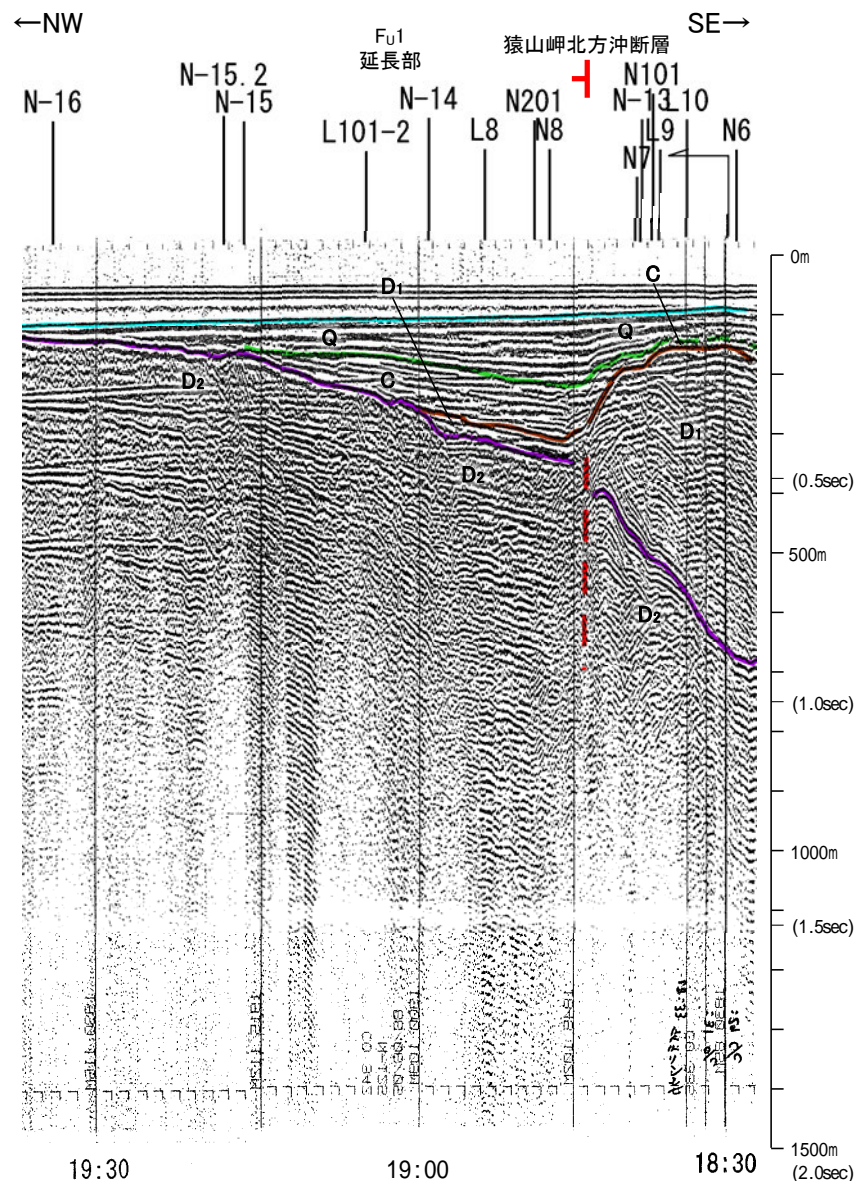
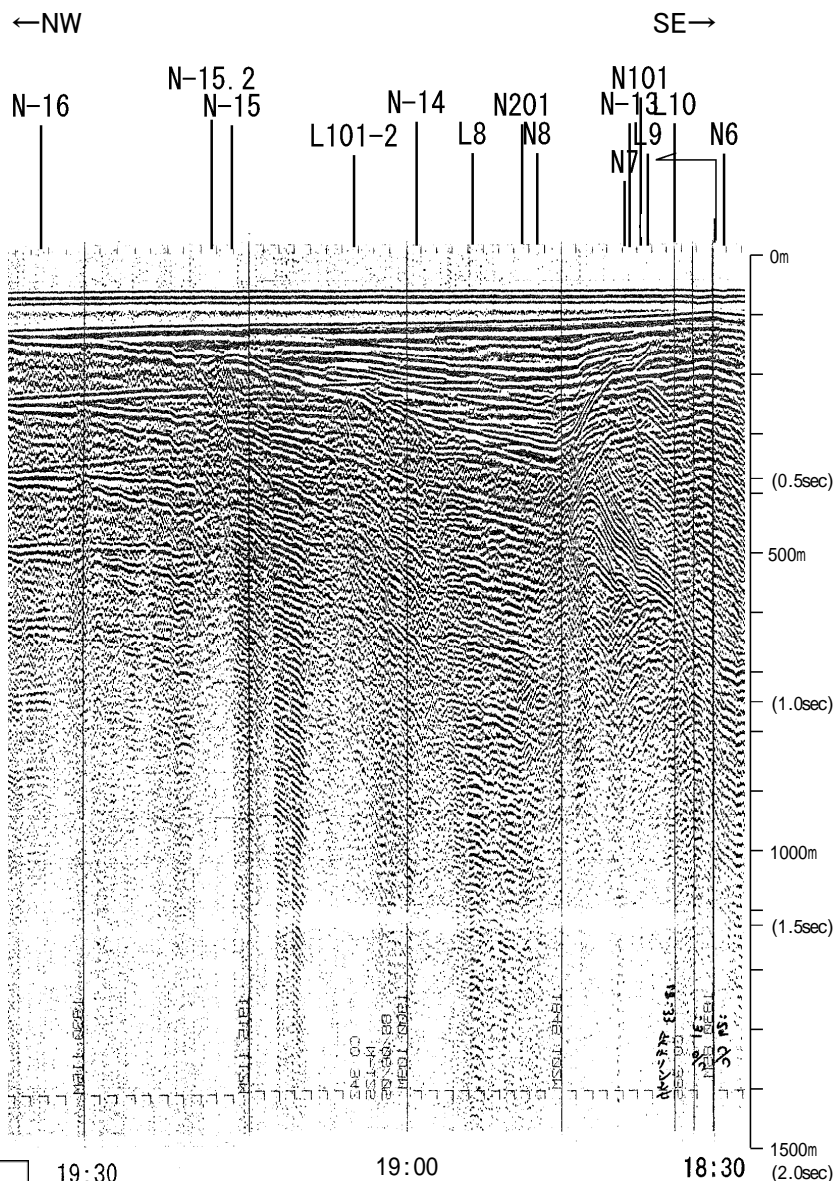


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
		D ₃ 層
	古第三紀	D ₄ 層
先第三紀		



・この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

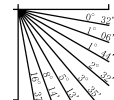
地質調査所エアガン N-125



地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B ₁ 層
	B ₂ 層
	B ₃ 層
更新世	C層
	D層
中新世	D層
	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

19:30
6/5

1:19

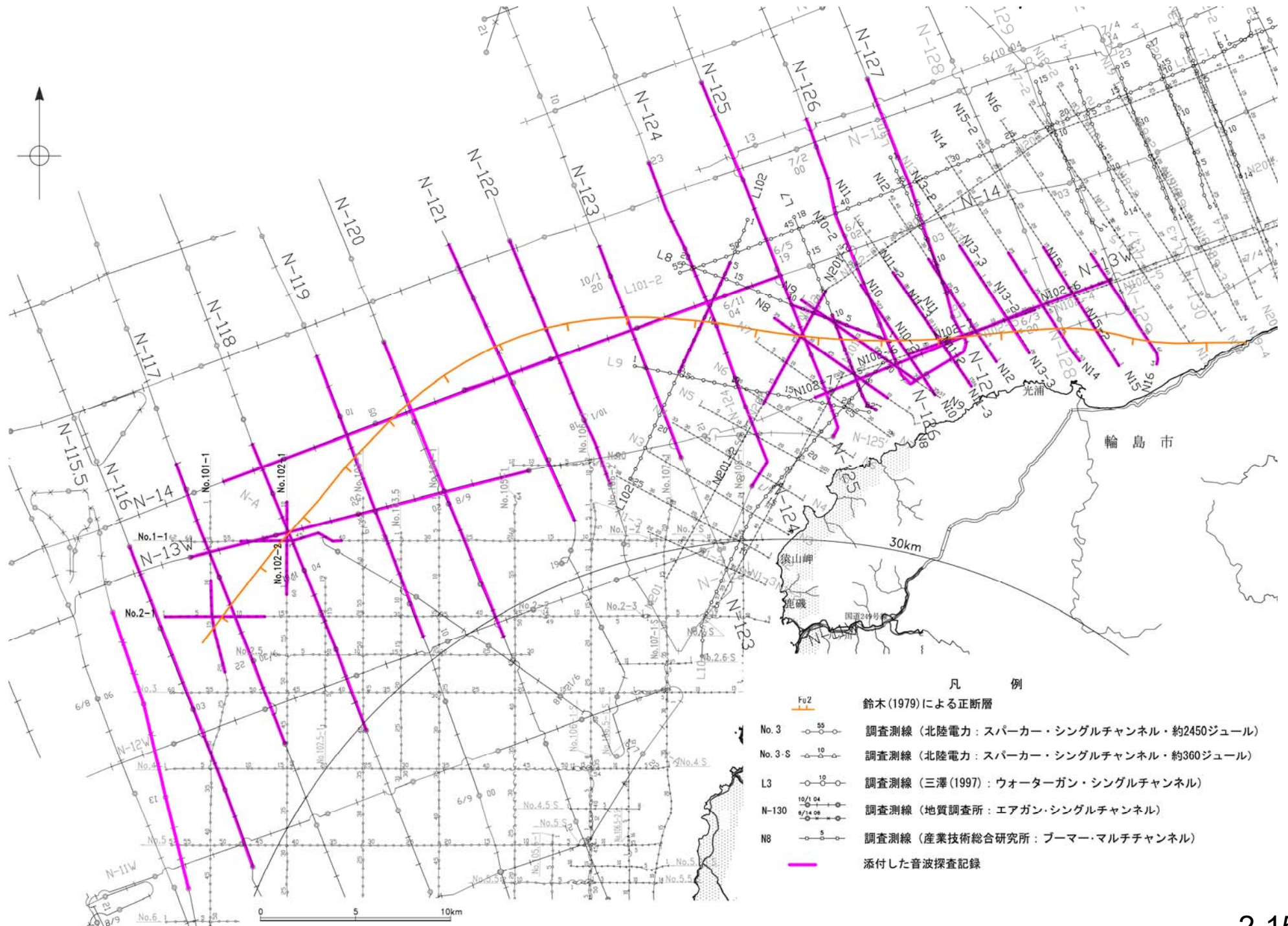


約5km

約5km

F_U2

音波探査記録 添付測線(Fu2)

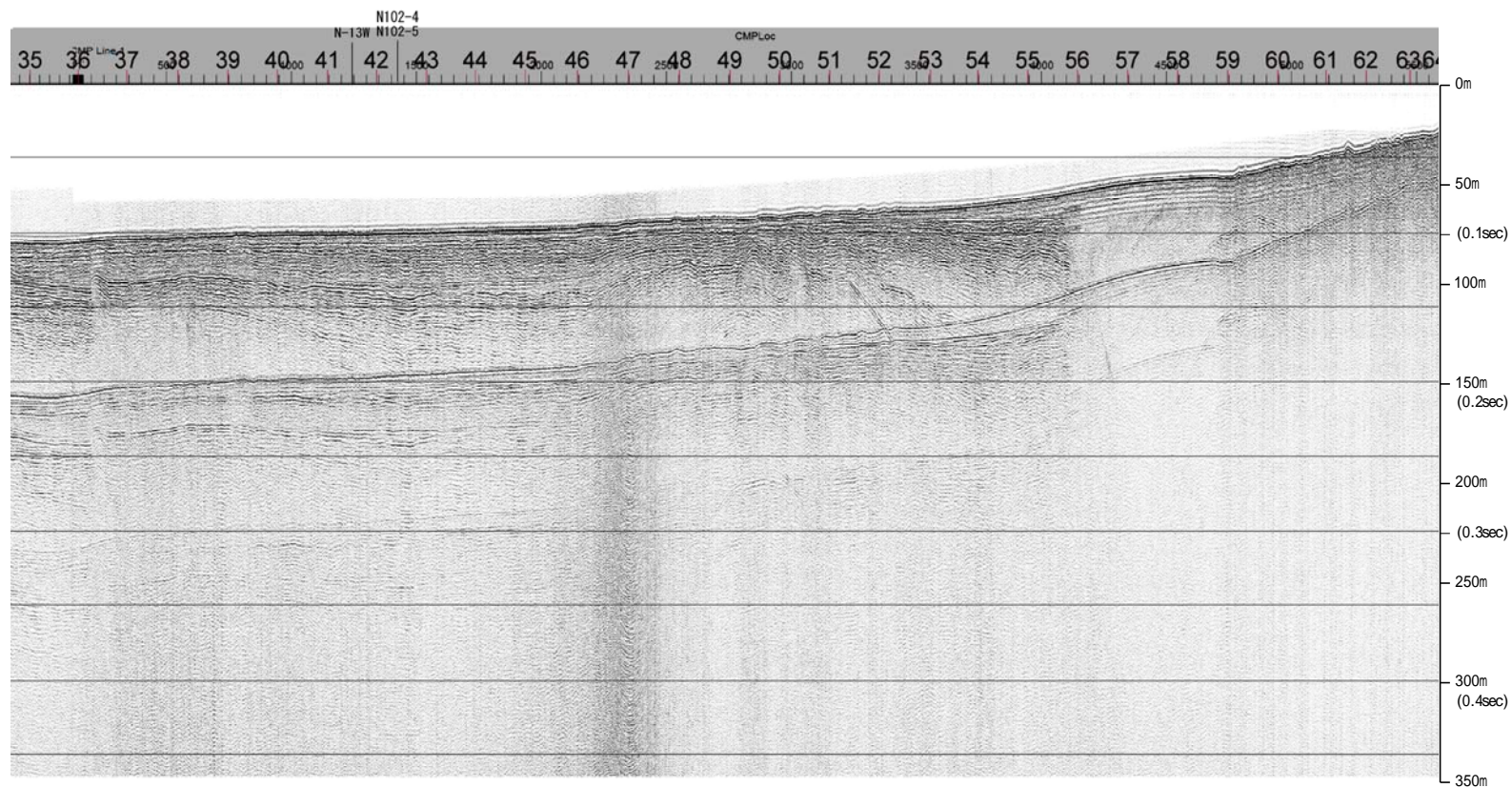


- 凡 例
- Fu2 鈴木(1979)による正断層
 - No. 3 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 - No. 3-S 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 - L3 調査測線 (三澤(1997): ウォーターガン・シングルチャンネル)
 - N-130 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
 - N8 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
 - 添付した音波探査記録

産総研ブーマー N16

←NW

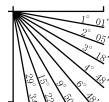
SE→



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

1:10

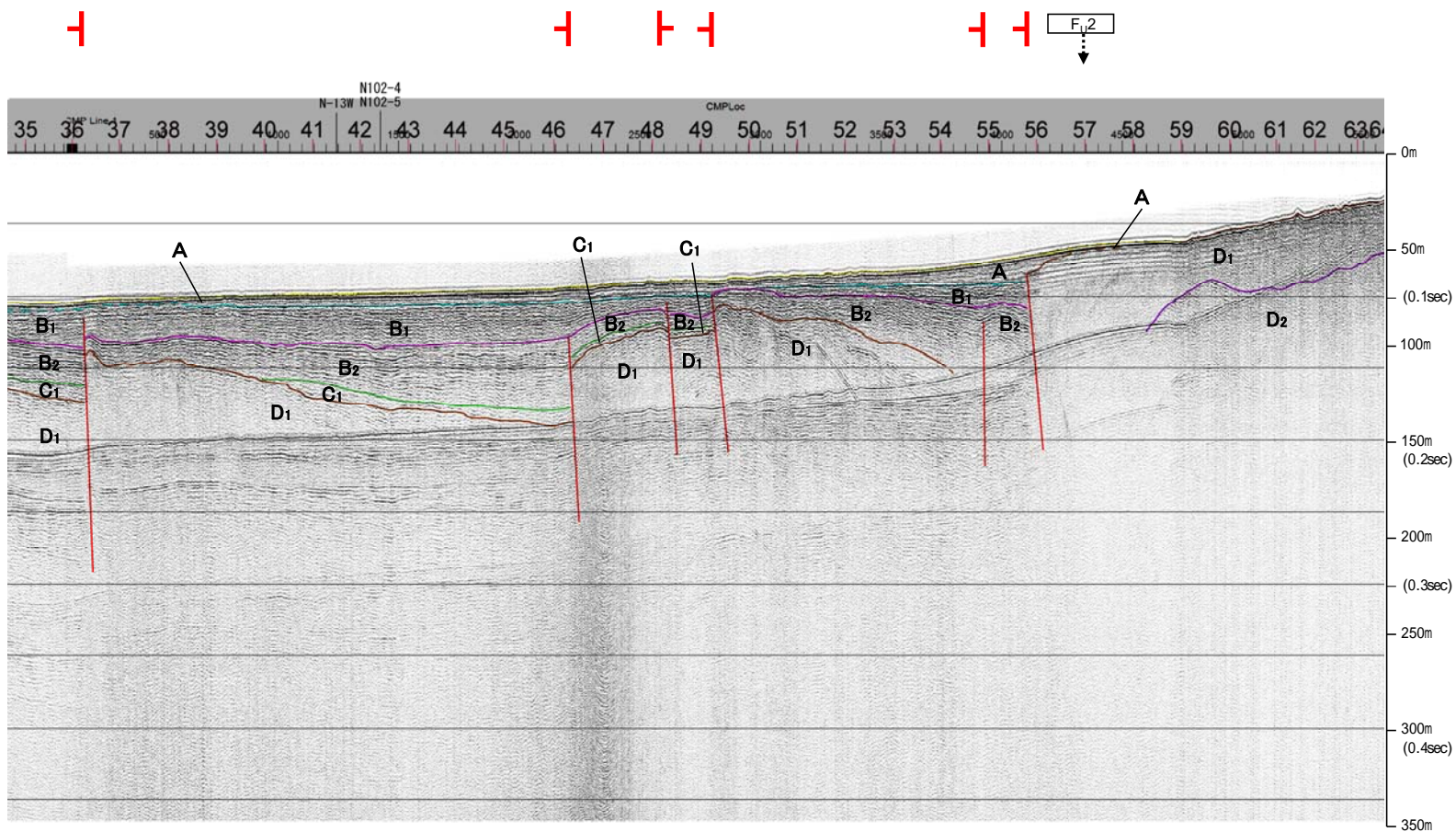


産総研ブーマー N16

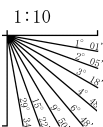
←NW

能登半島北部沿岸域断層帯

SE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₁ 層 B ₂ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層 C ₂ 層
	古第三紀	D ₁ 層 D ₂ 層

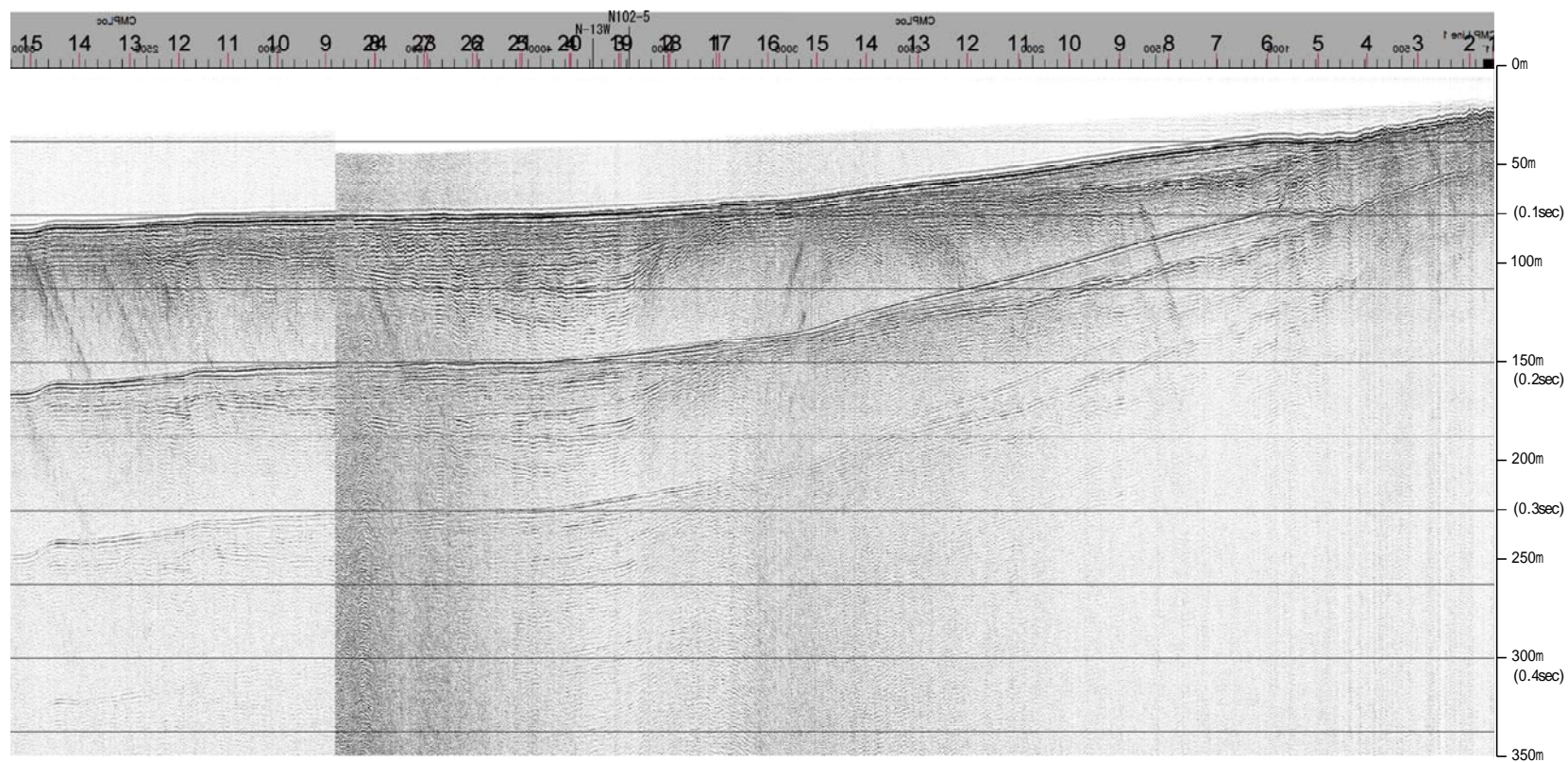


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

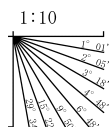
産総研ブーマー N15,N15-2

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B層
	中期	前期	B層
		後期	B層
第三紀	新第三紀	鮮新世	C層
		中新世	D層
	古第三紀		D層
		先第三紀	D層



産総研ブーマー N15,N15-2

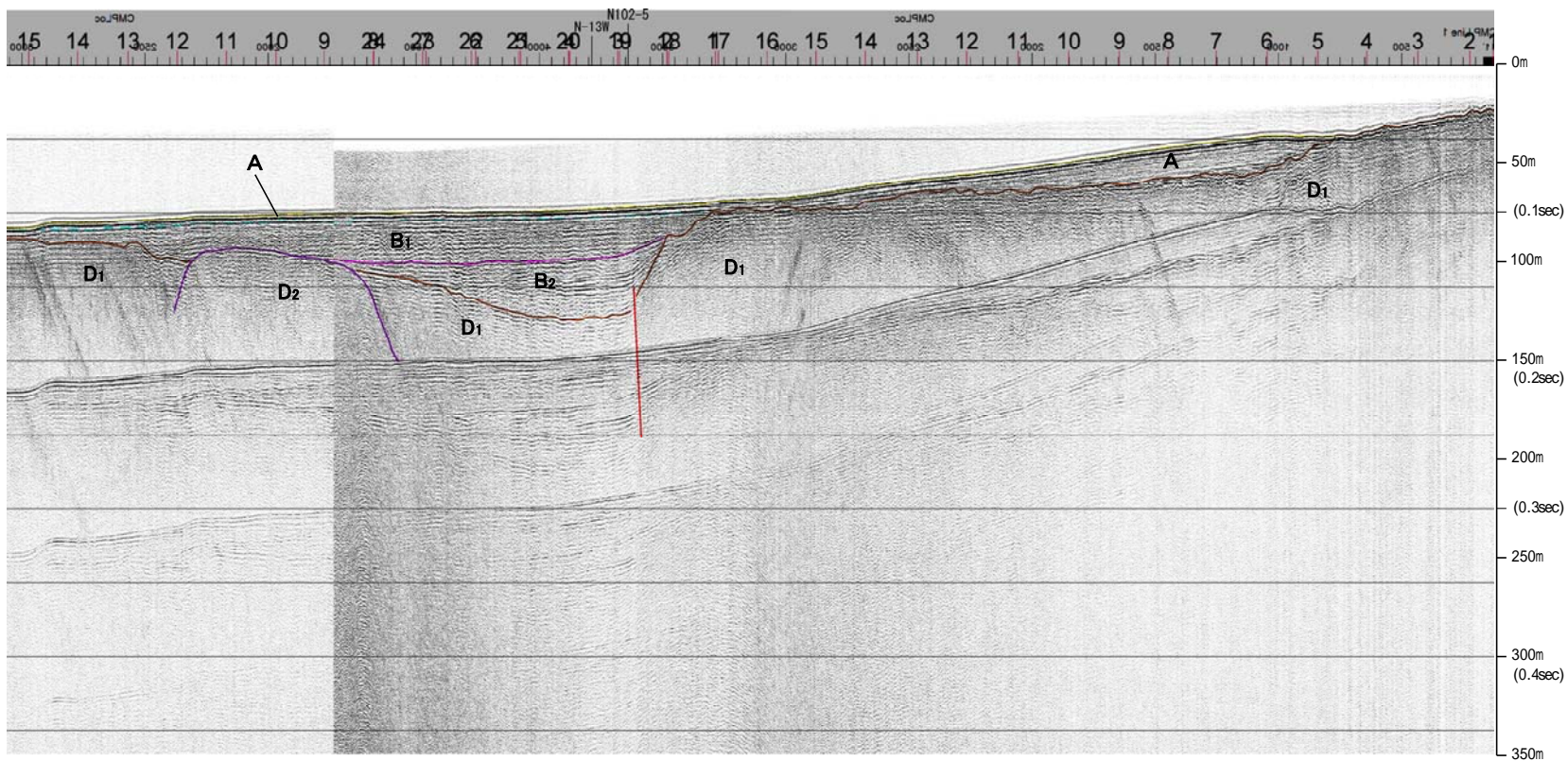
←NW

SE→

能登半島北部沿岸域断層帯



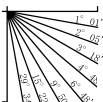
F₁2



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層

1:10

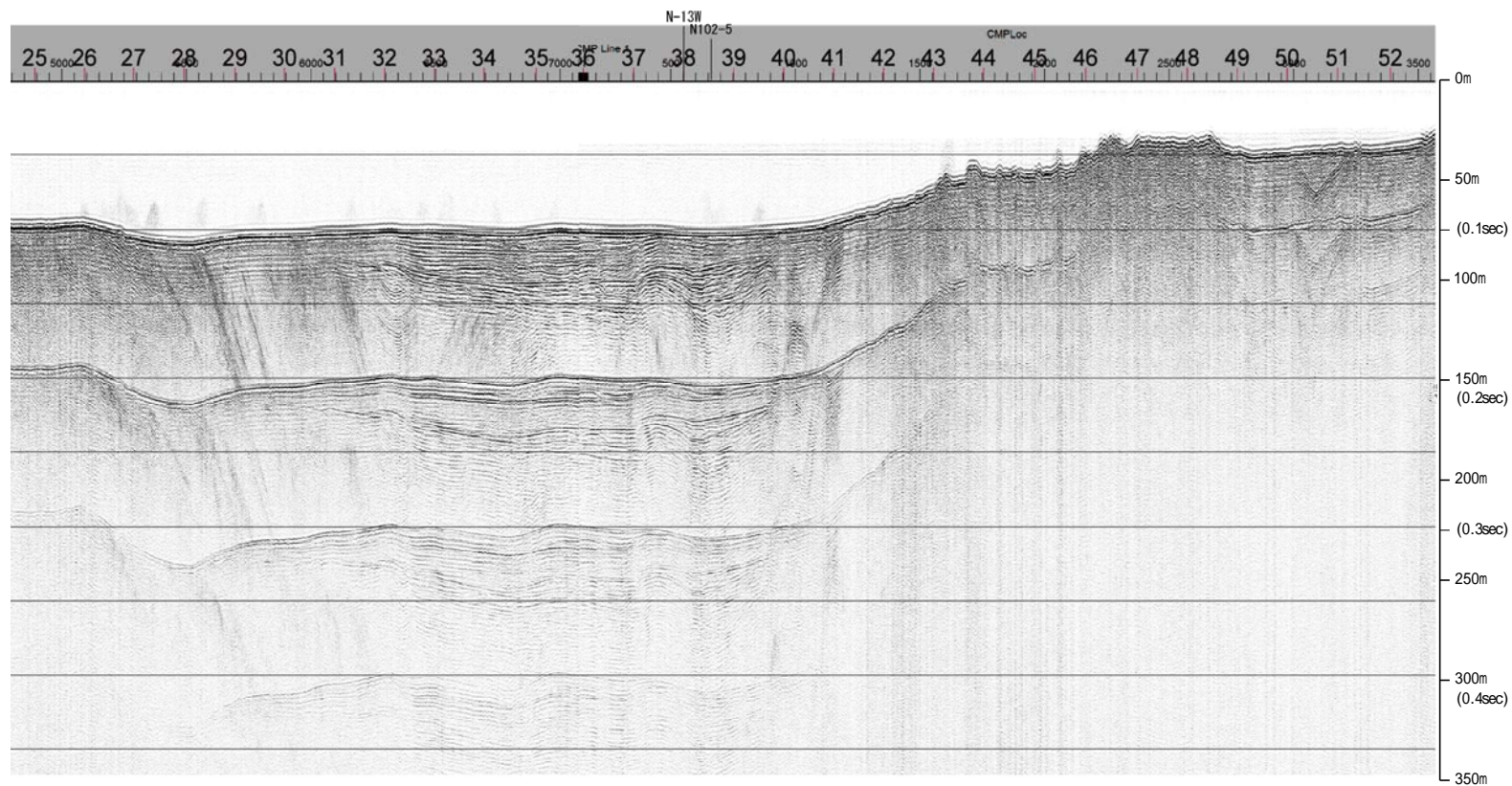


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

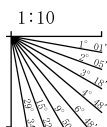
産総研ブーマー N14

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

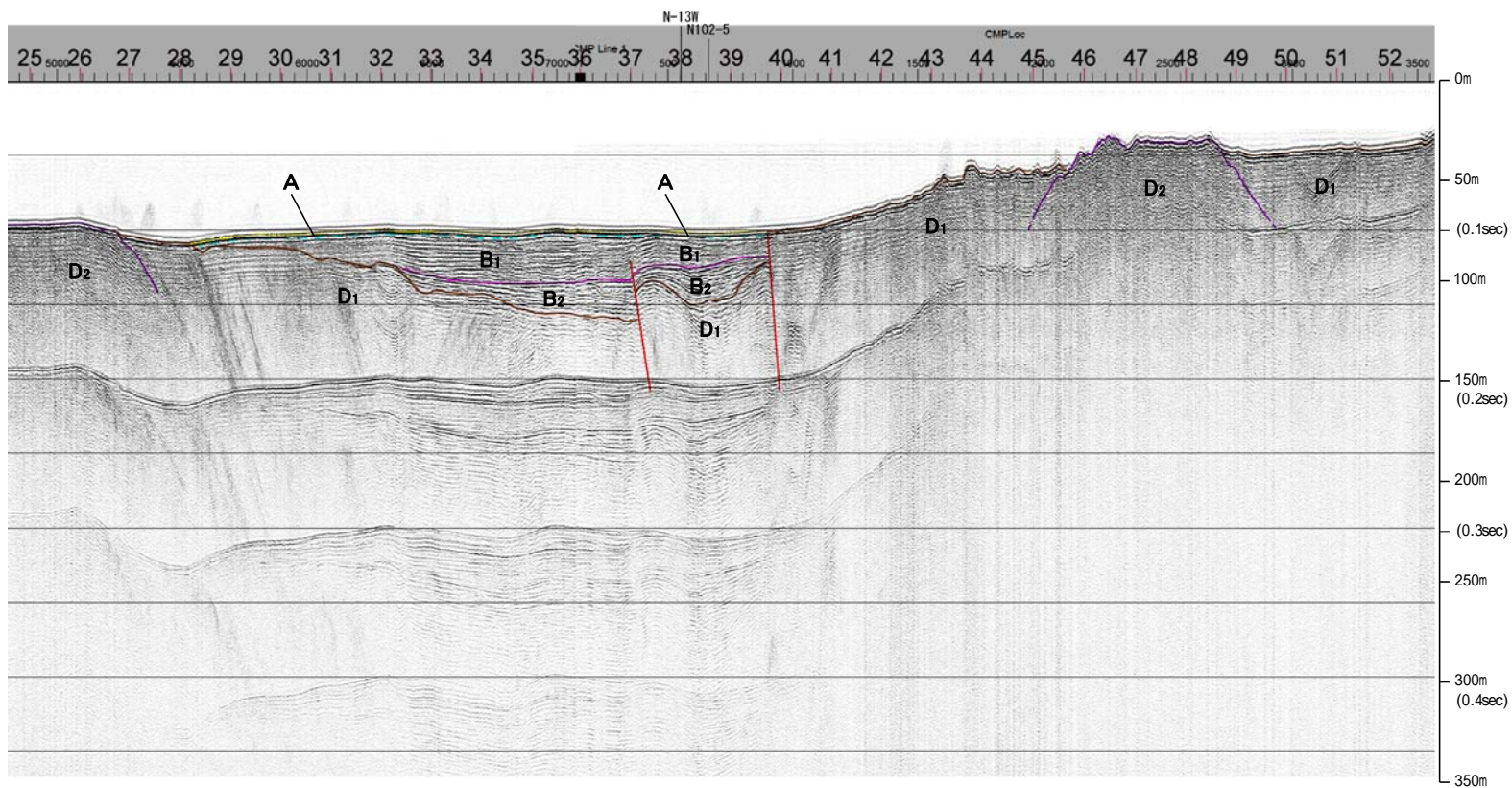


産総研ブーマー N14

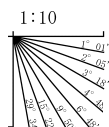
←NW

SE→

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層

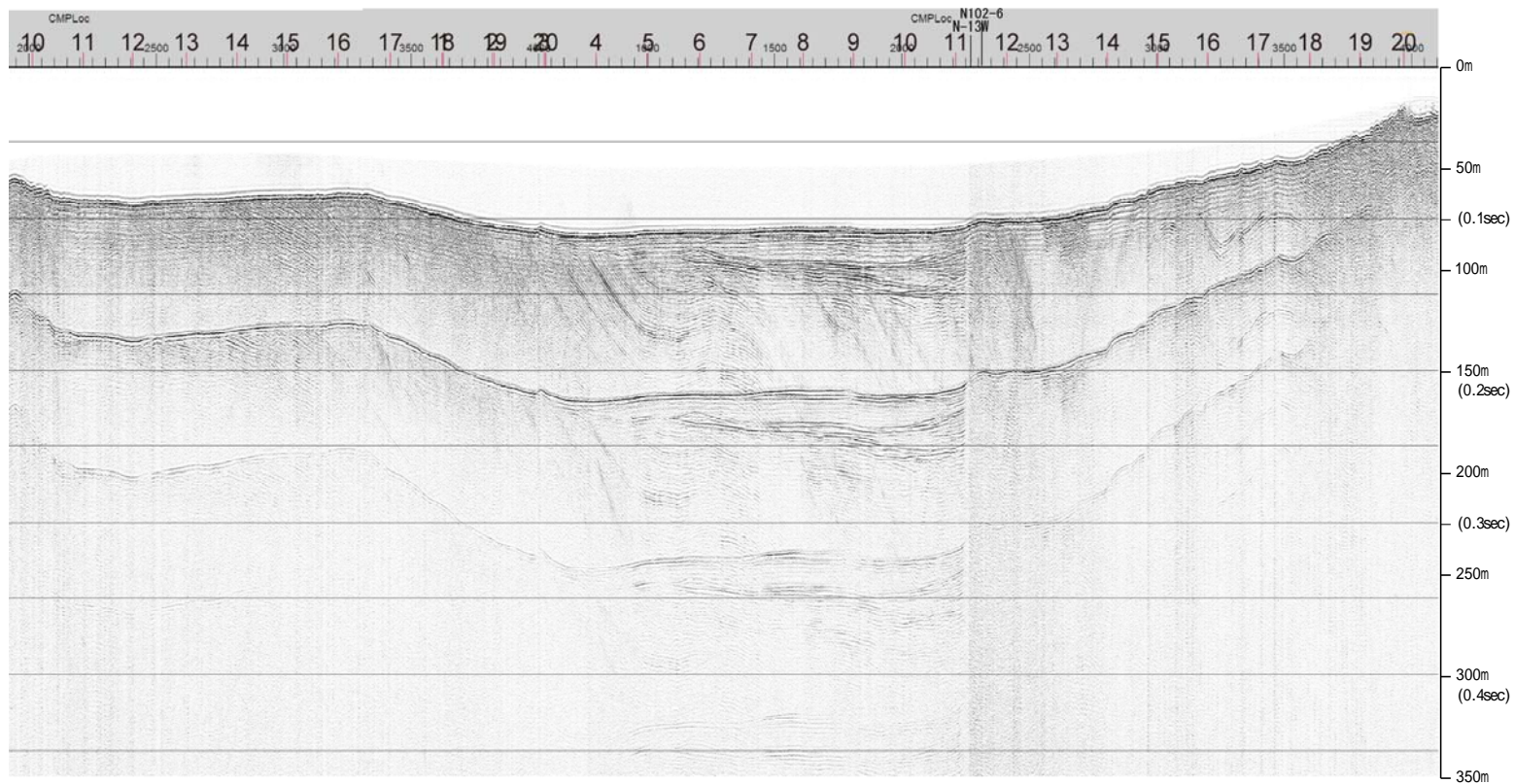


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

産総研ブーマー N13-2,N13-3

←NW

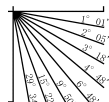
SE→



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
先第三紀	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

1:10

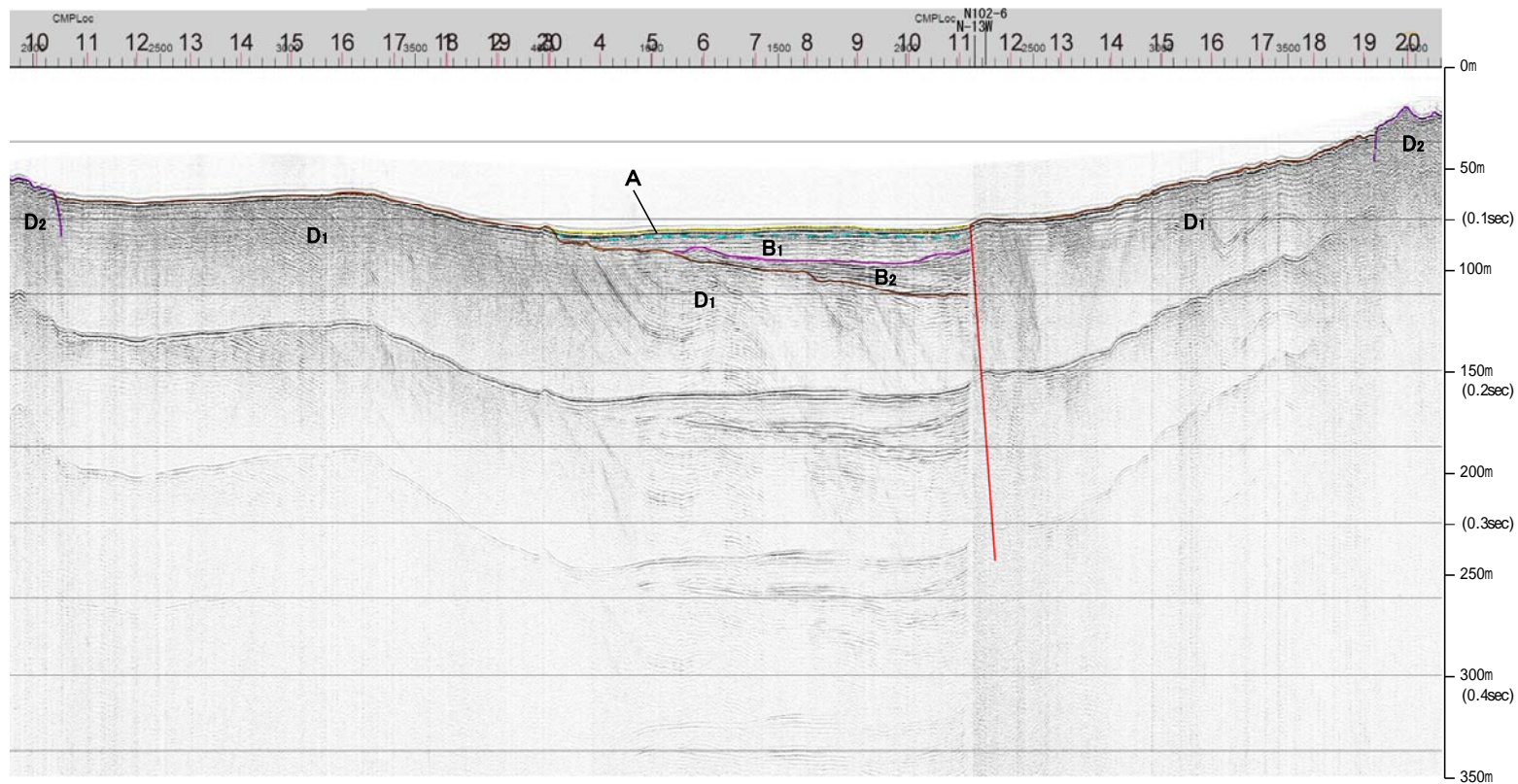


産総研ブーマー N13-2,N13-3

←NW

SE→

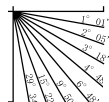
能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B ₁ 層
	中期	前期	B ₂ 層
		後期	B ₁ 層
第三紀	新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	

1:10

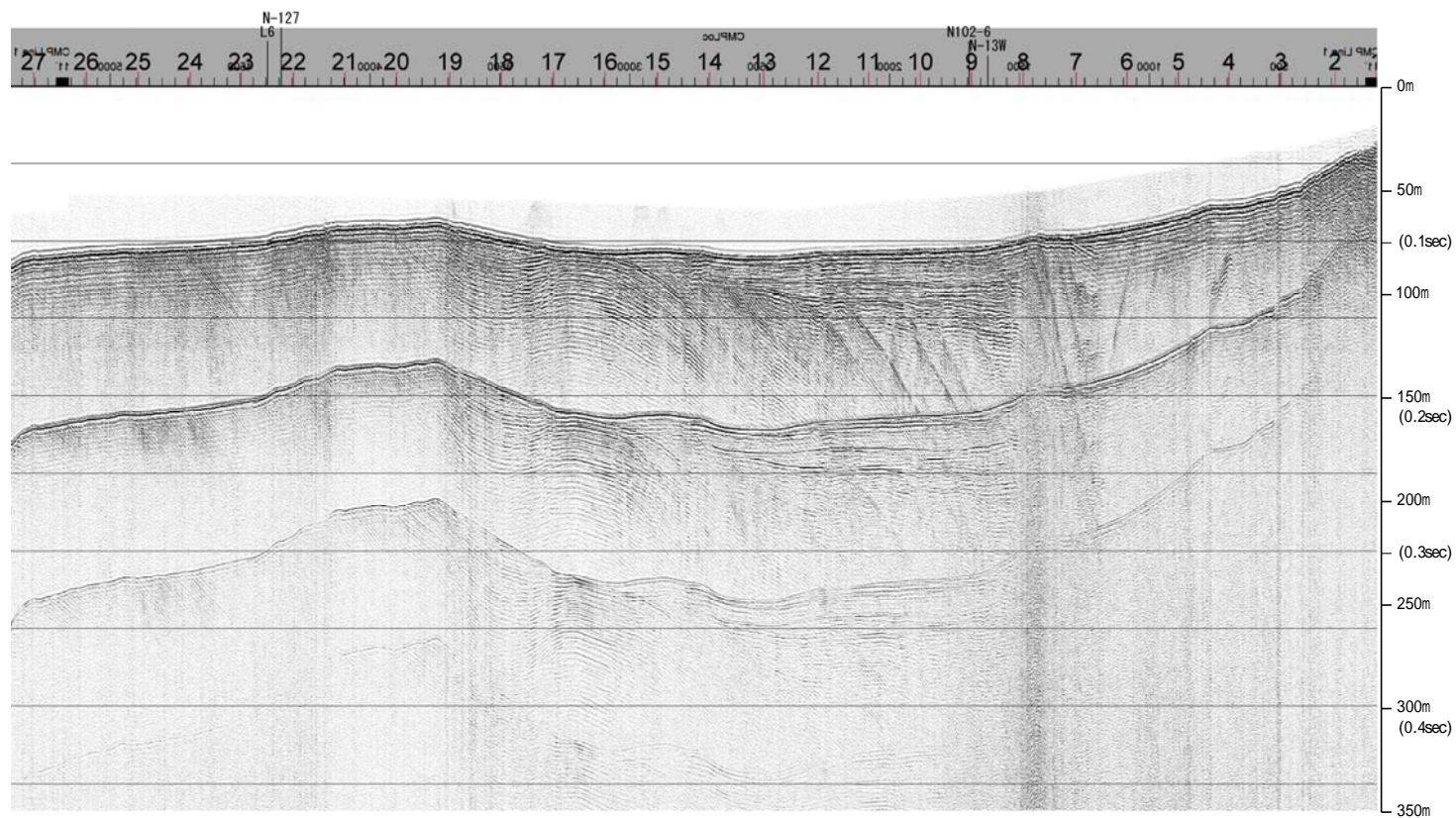


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

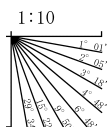
産総研ブーマー N12

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	新第三紀	C層	
第三紀	中新世	C層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	



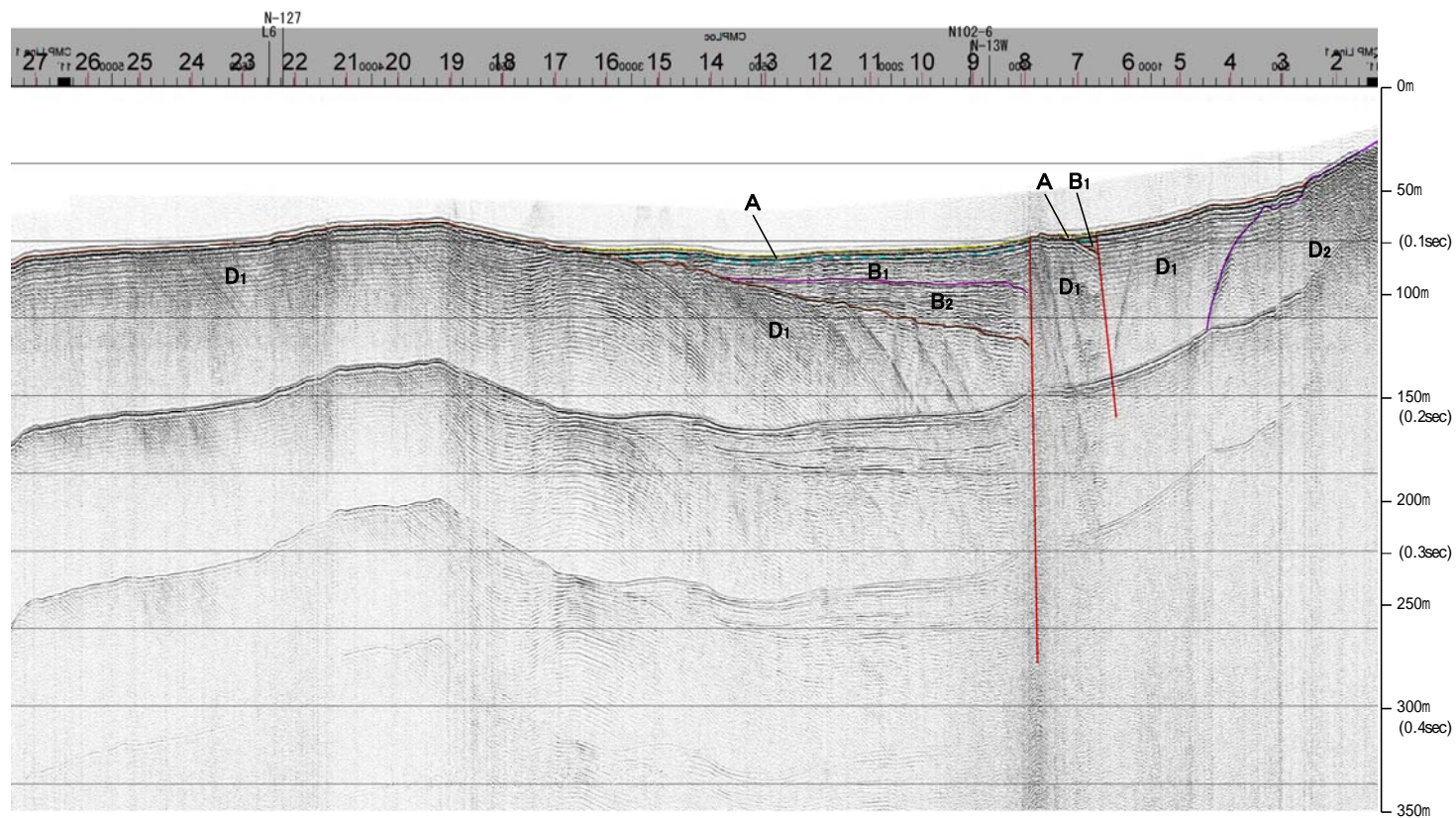
約1km

産総研ブーマー N12

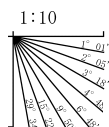
←NW

F₁2
能登半島北部沿岸域断層帯
+ +

SE→

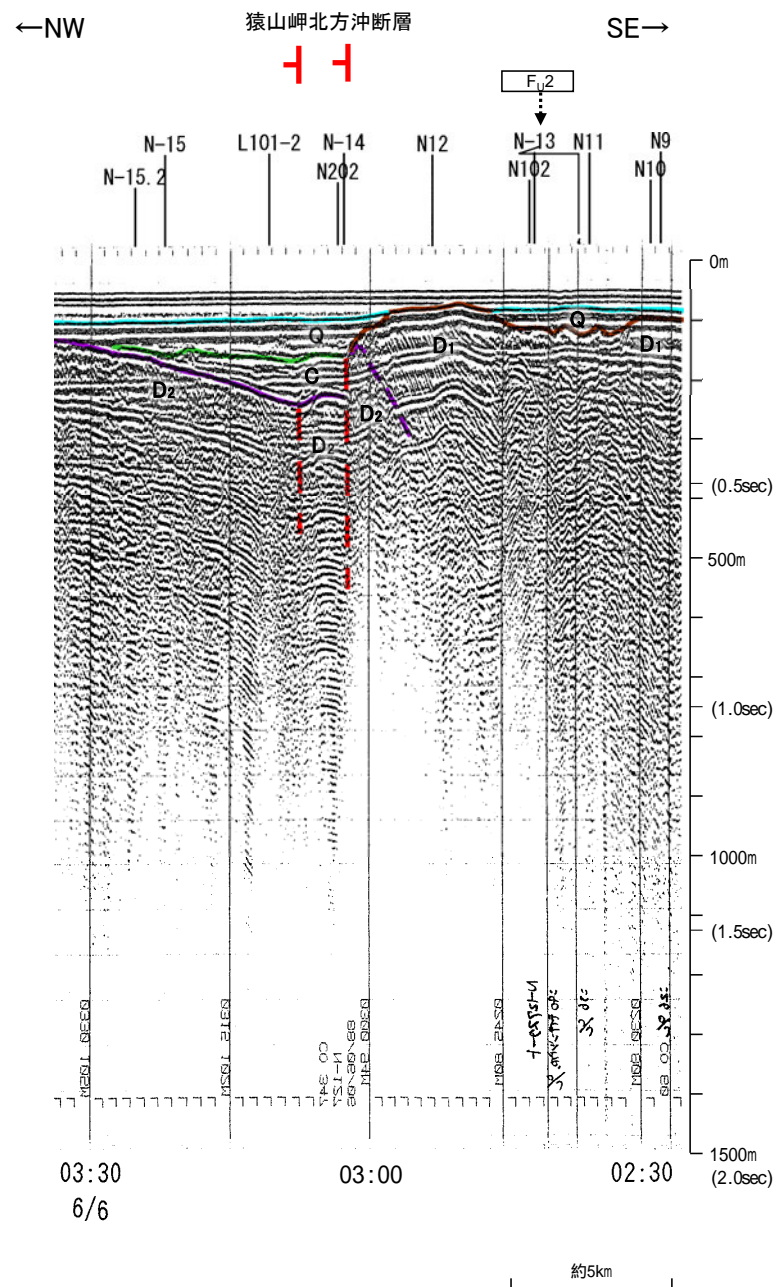
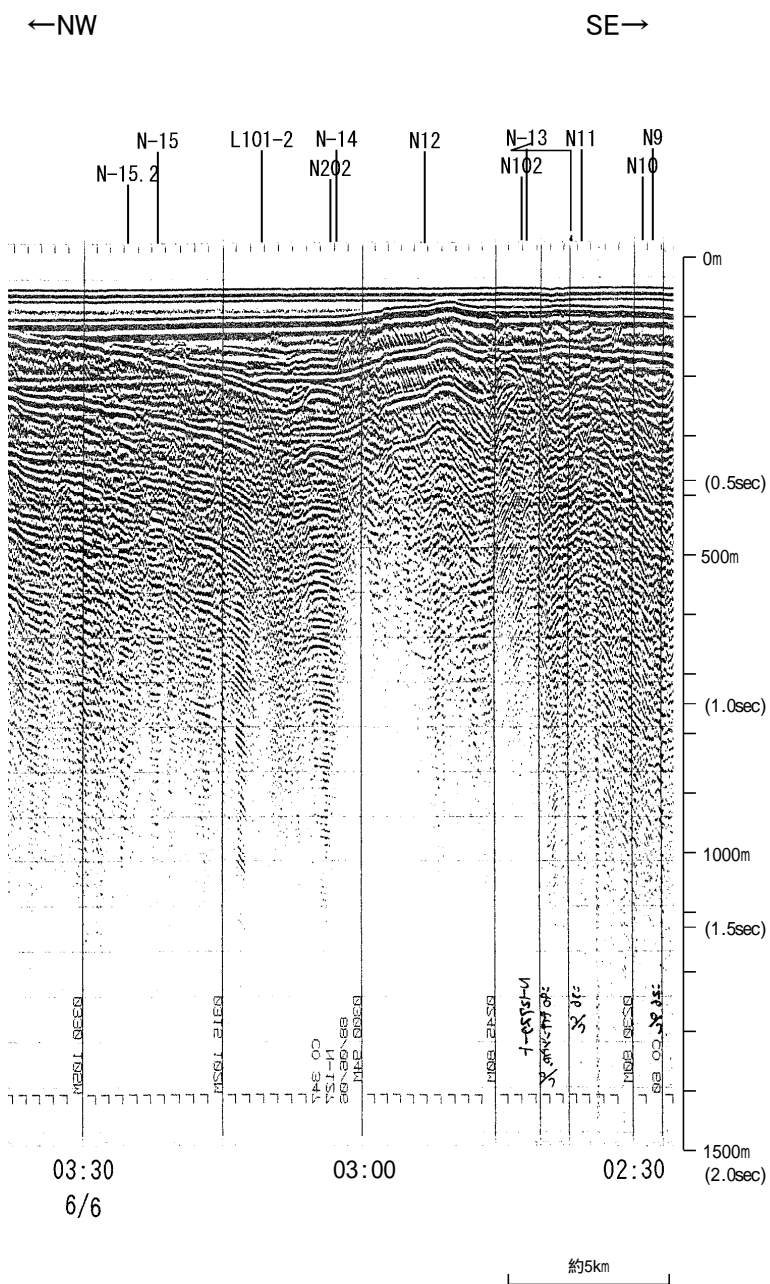


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B ₁ 層
	中期	Q層	B ₂ 層
		B層	B ₁ 層
		B層	B ₂ 層
第三紀	新第三紀	C層	C層
	中新世	D層	D ₁ 層
	古第三紀	D層	D ₂ 層
先第三紀			

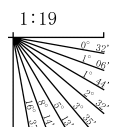


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-127

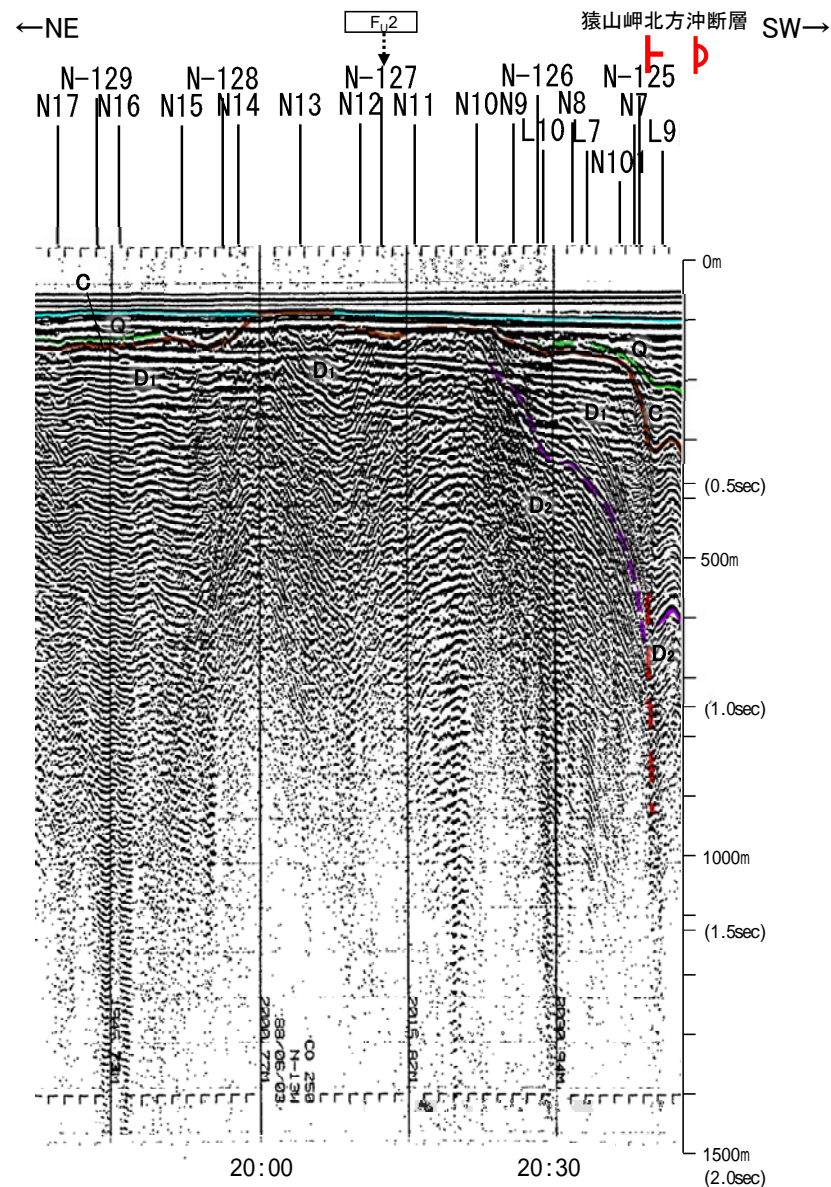
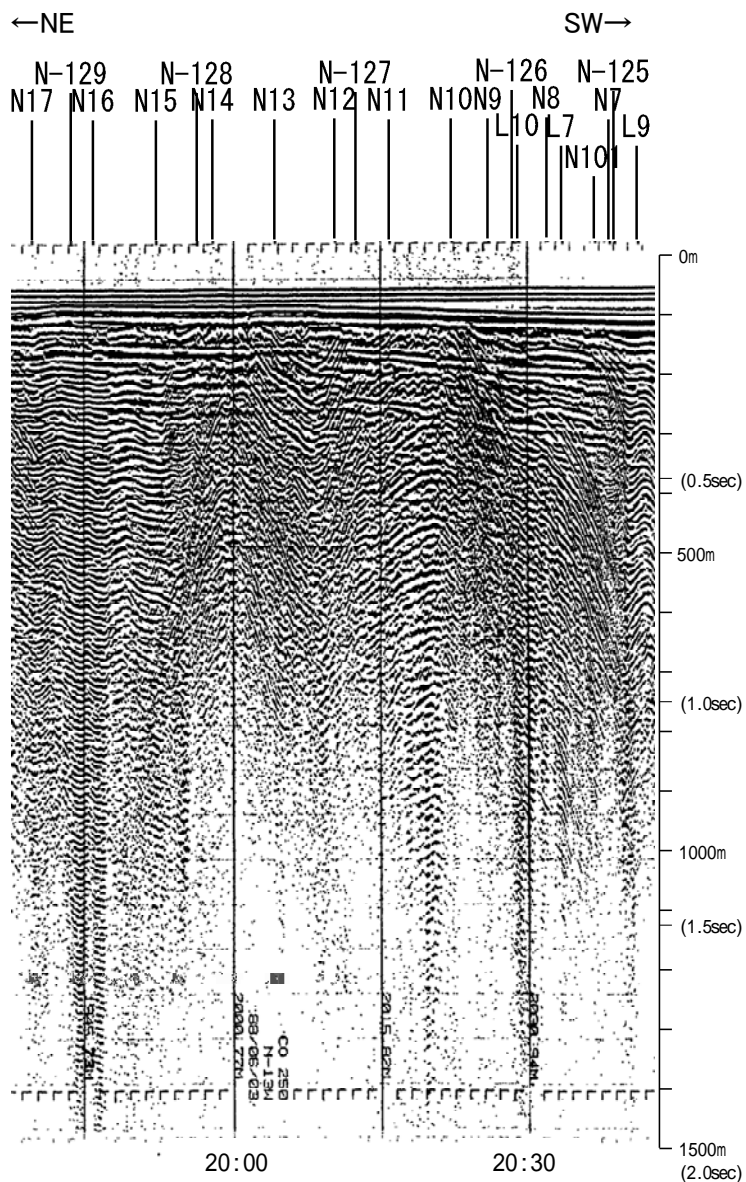


地質時代		地層名	
第四紀	全新世	A層	B層
	後期	Q層	B層
	中期	B層	B層
	前期	C層	C層
第三紀	新第三紀	C層	D層
	古第三紀	D層	D層
先第三紀		D層	D層

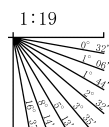


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-13W



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	C層
	D層	D層
古第三紀	D層	D層
	D層	D層
先第三紀	D層	D層

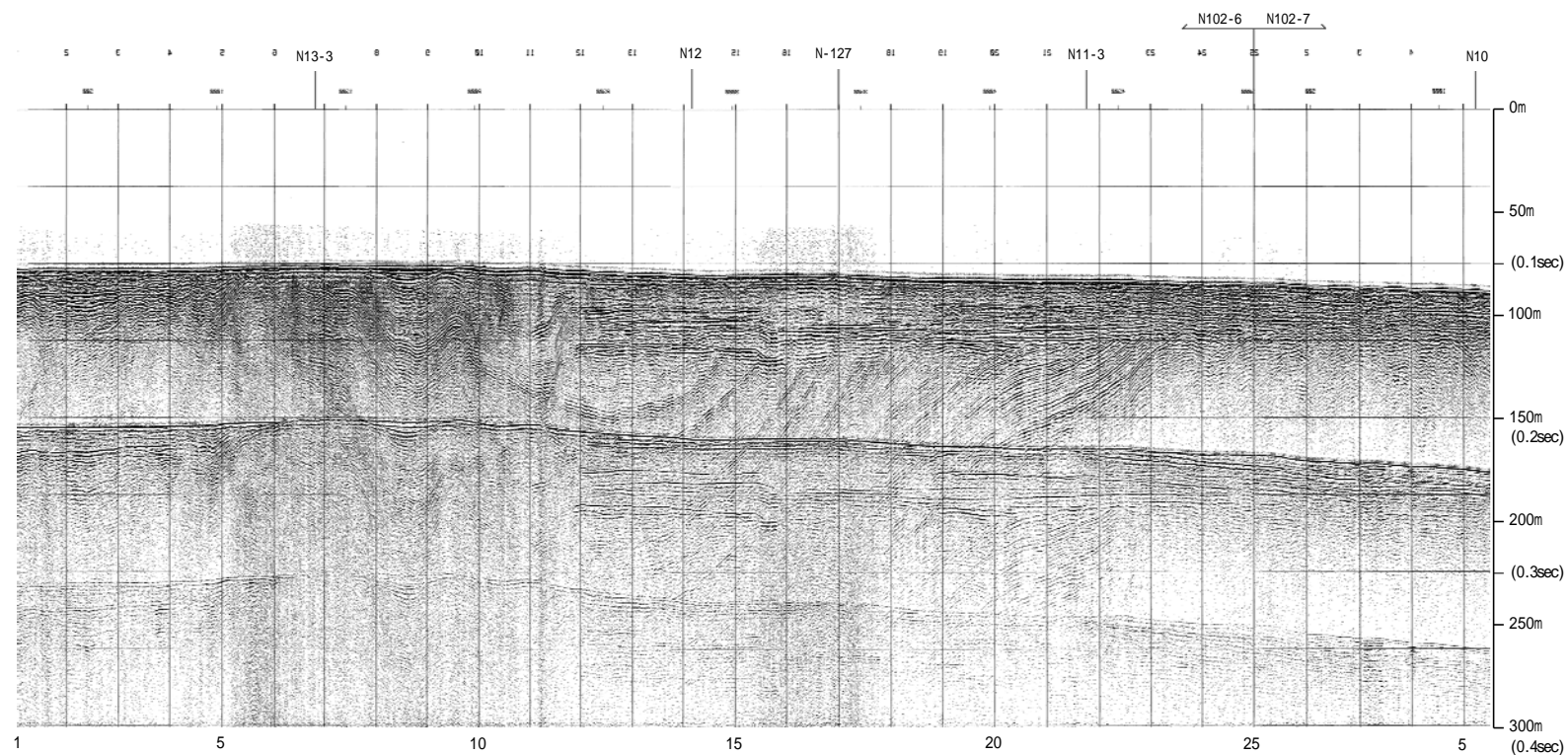


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

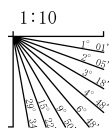
産総研ブーマー N102-6,N102-7

←ENE

WSW→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B層
	中期	前期	B層
		後期	B層
第三紀	新第三紀	鮮新世	C層
		中新世	D層
	古第三紀		D層
		先第三紀	D層

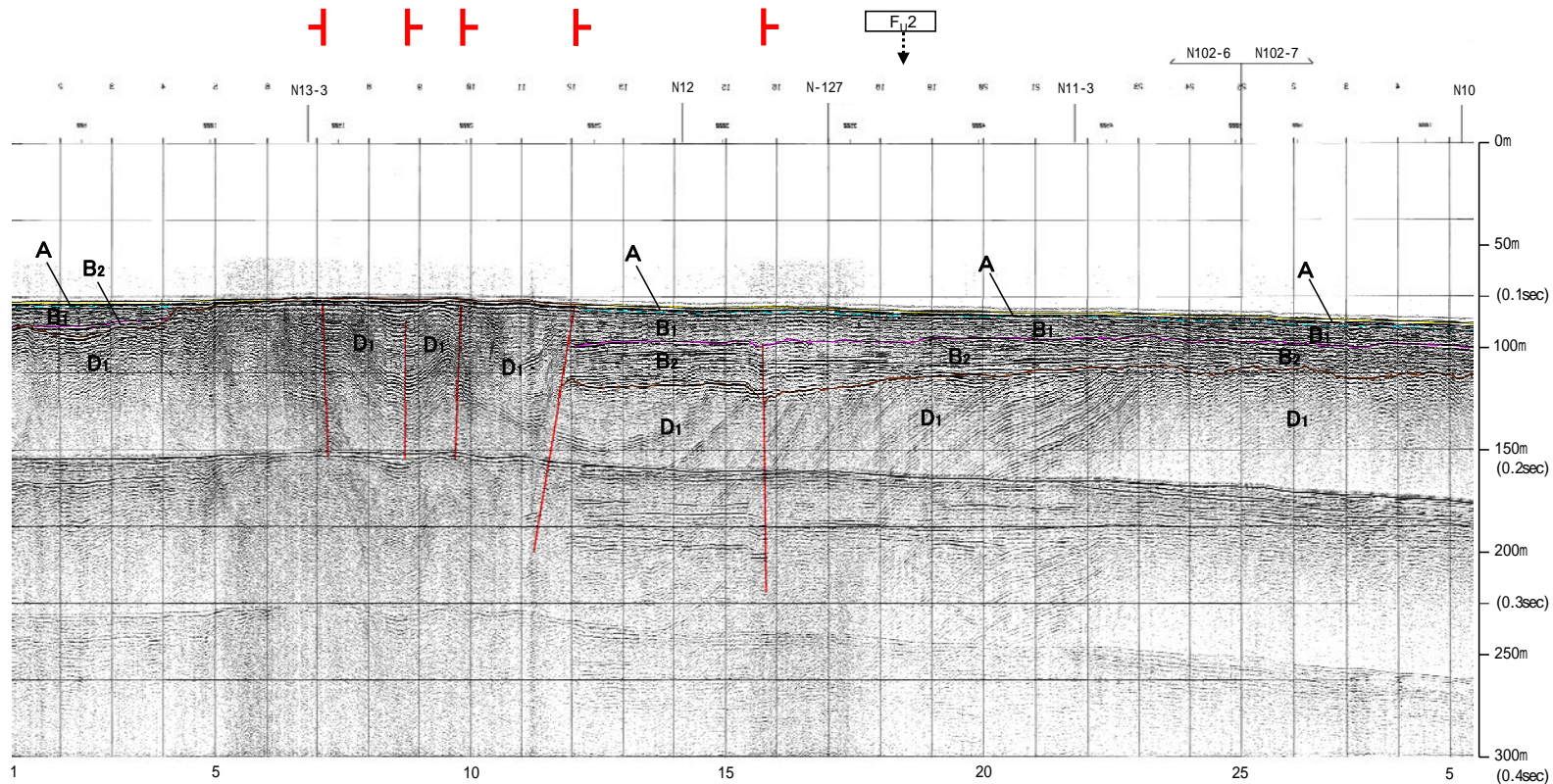


産総研ブーマー N102-6,N102-7

←ENE

WSW→

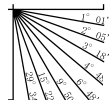
能登半島北部沿岸域断層帯



約1km

地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₁ 層
第三紀	中新世	C層
	中新世	D ₁ 層
古第三紀		D ₂ 層
先第三紀		D ₃ 層

1:10

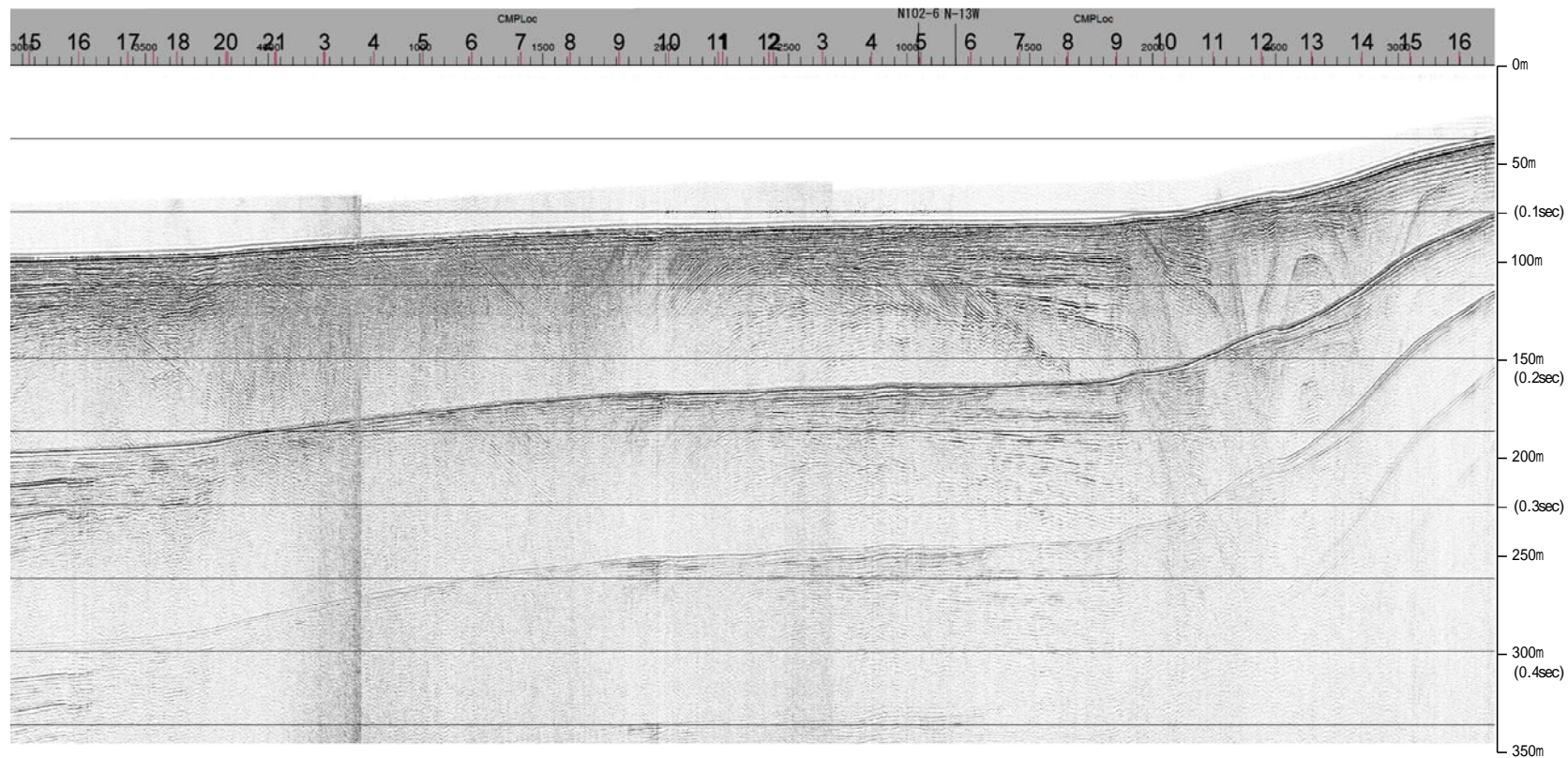


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

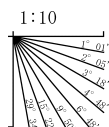
産総研ブーマー N11,N11-2,N11-3

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B層
	中期	B層	B層
		B層	B層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



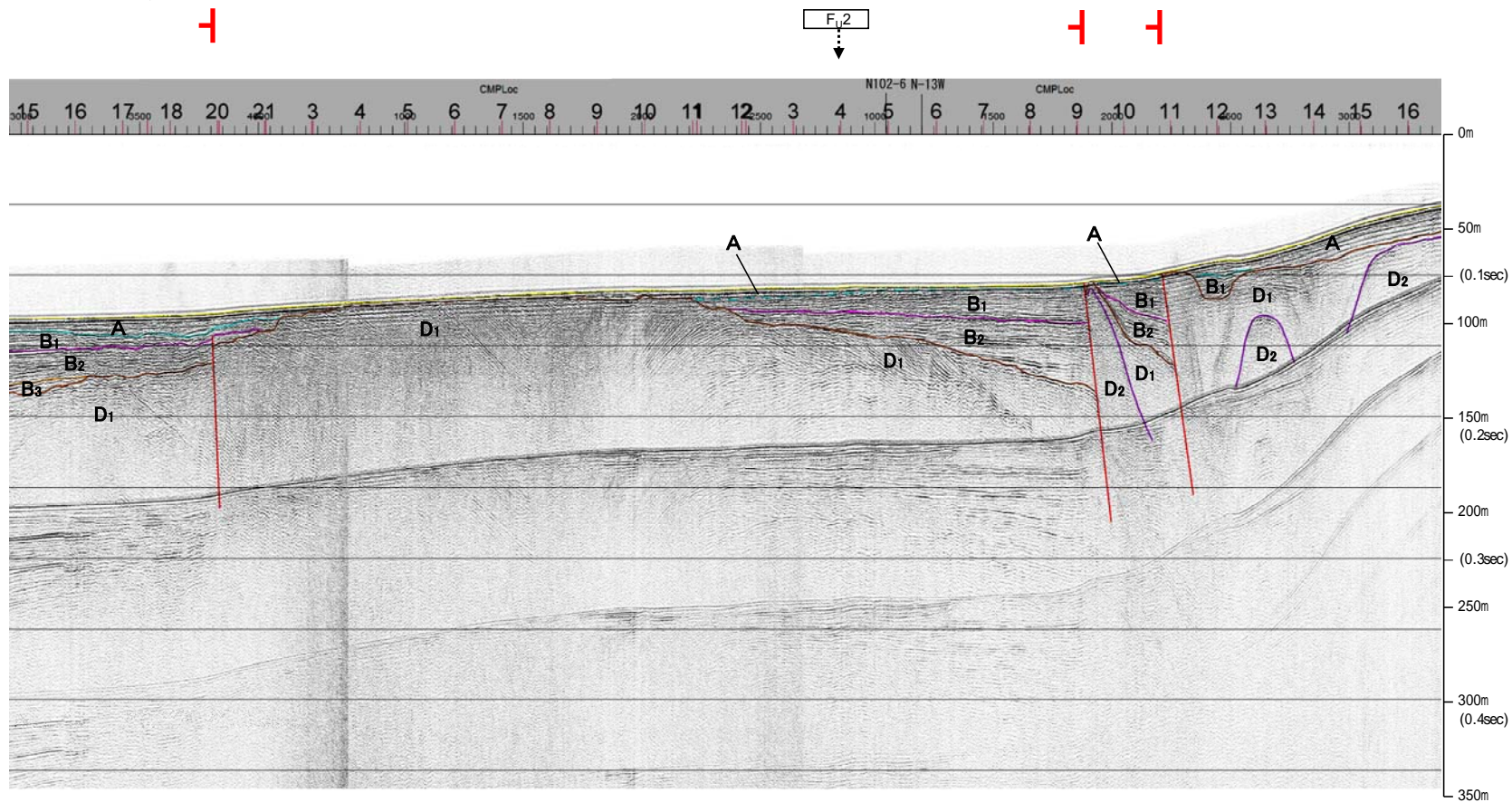
産総研ブーマー N11,N11-2,N11-3

←NW

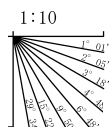
SE→

猿山岬北方沖断層

能登半島北部沿岸域断層帯



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層	

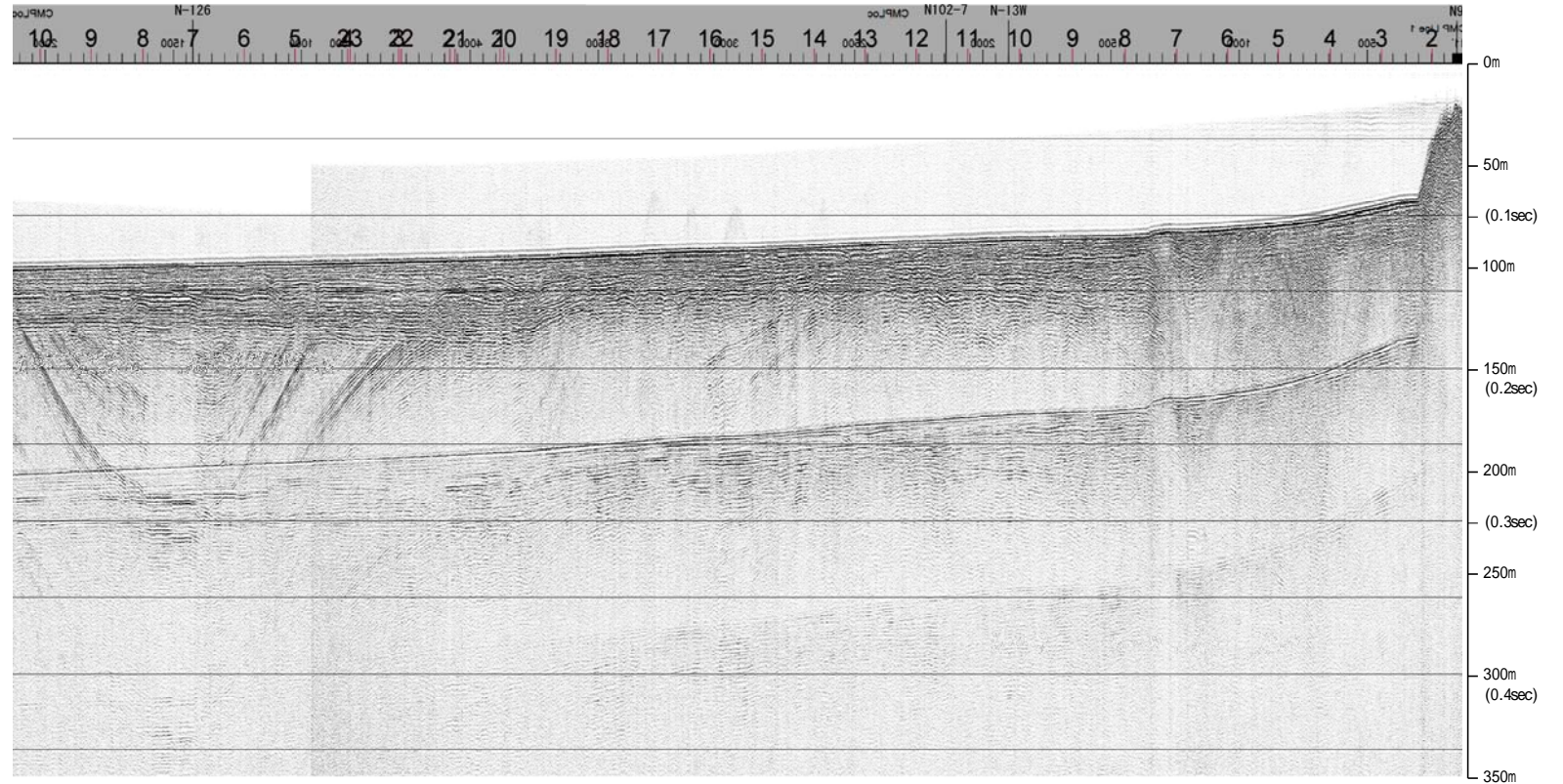


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

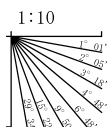
産総研ブーマー N10,N10-2

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
		前期	B層
	中期	前期	B層
		後期	B層
第三紀	新第三紀	鮮新世	C層
		中新世	D層
	古第三紀		D層
		先第三紀	D層



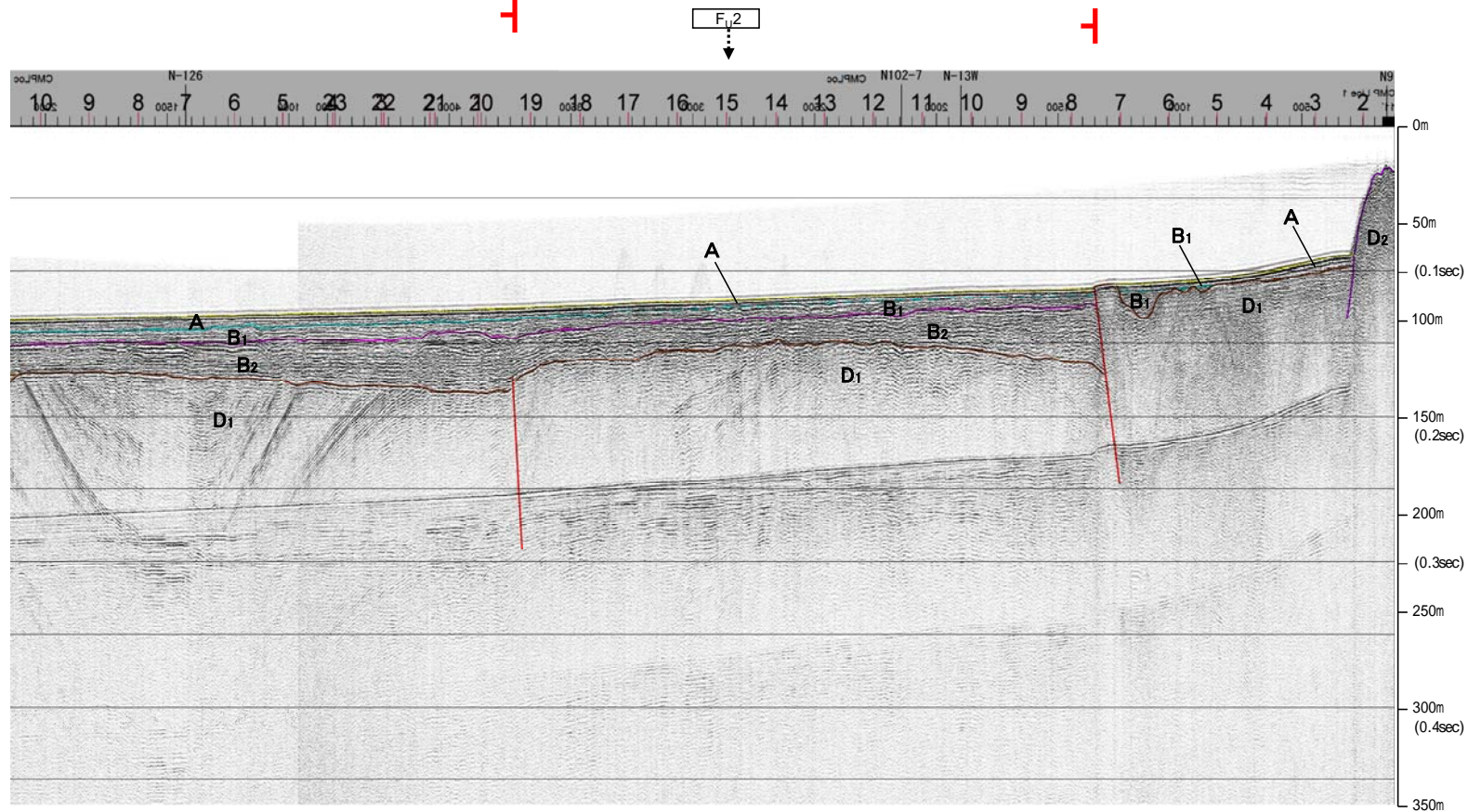
産総研ブーマー N10,N10-2

←NW

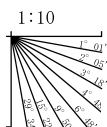
SE→

猿山岬北方沖断層

能登半島北部沿岸域断層帯

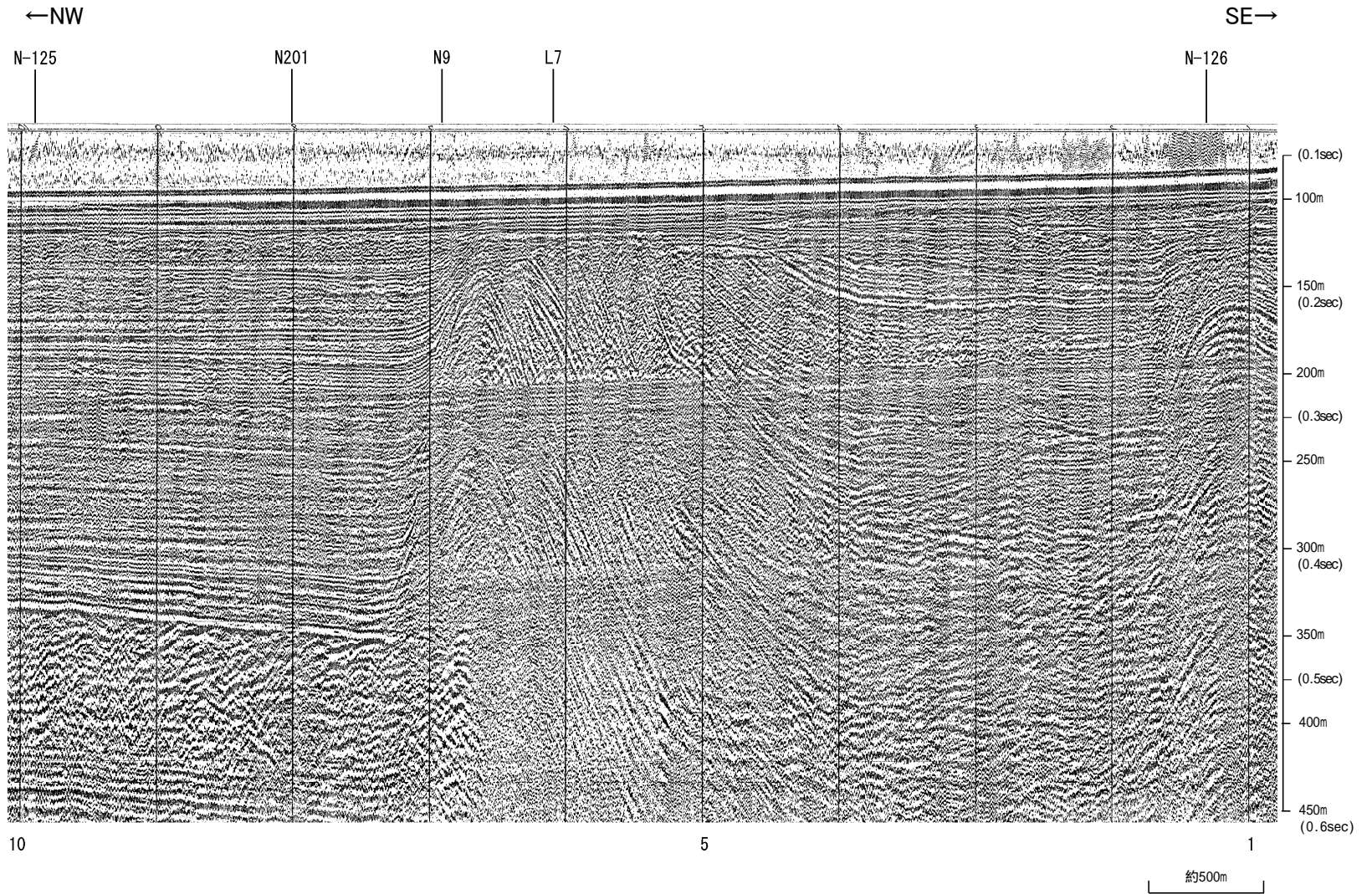


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
	古第三紀	D ₃ 層
先第三紀		

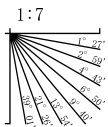


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

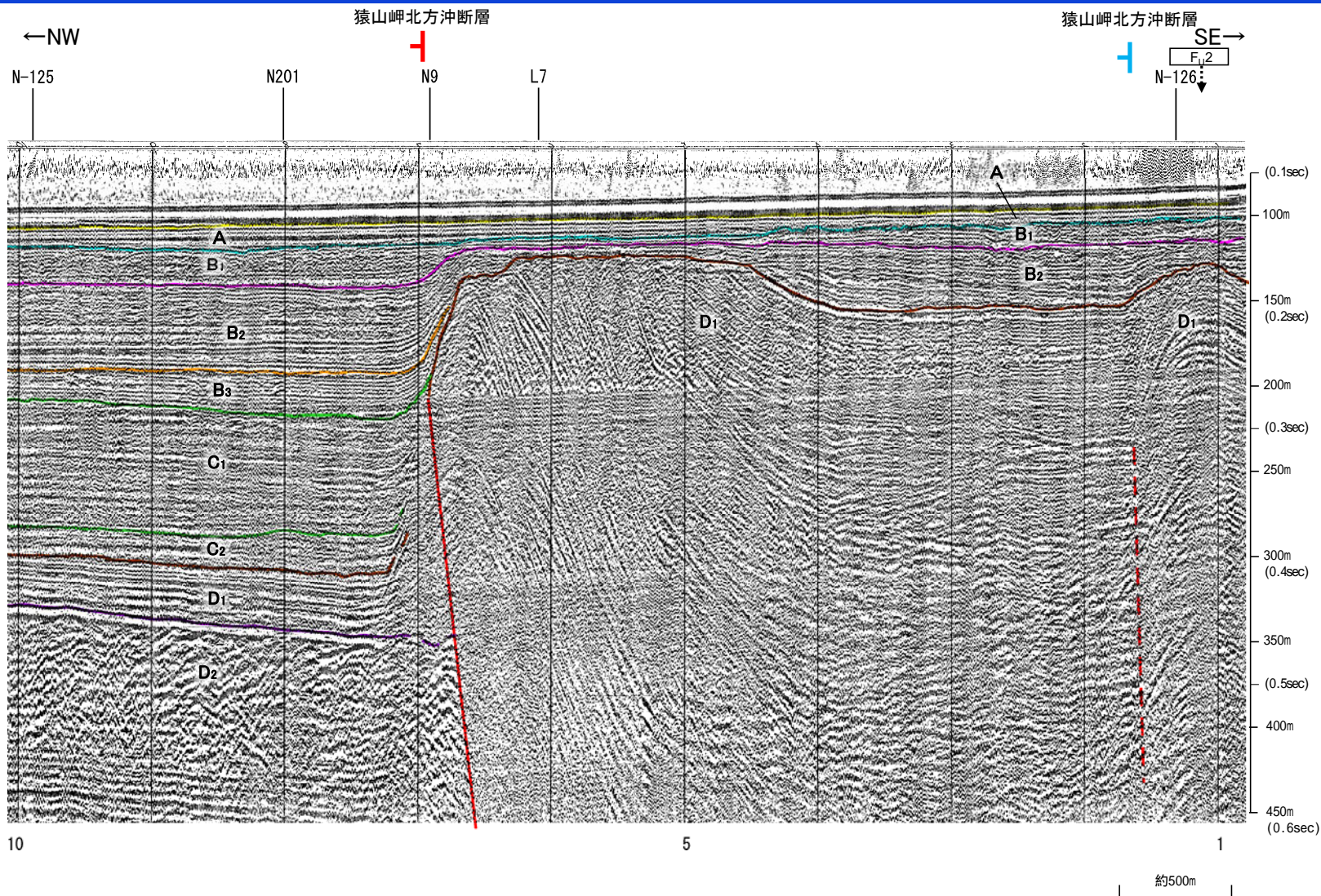
三澤(1997)ウォーターガン L8



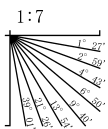
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	中期	前期	B層
		後期	B層
	全新世	前期	B層
第三紀	新第三紀	中新世	C層
	古第三紀	中新世	D層
		先第三紀	D層



三澤(1997)ウォーターガン L8

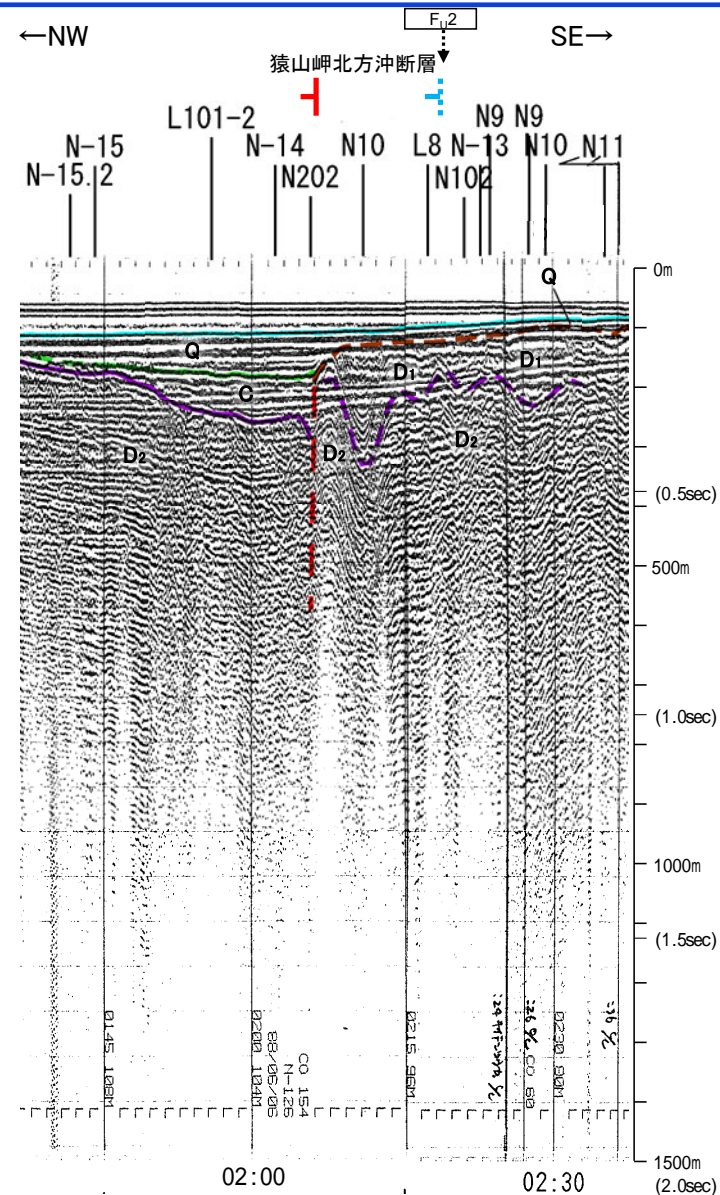
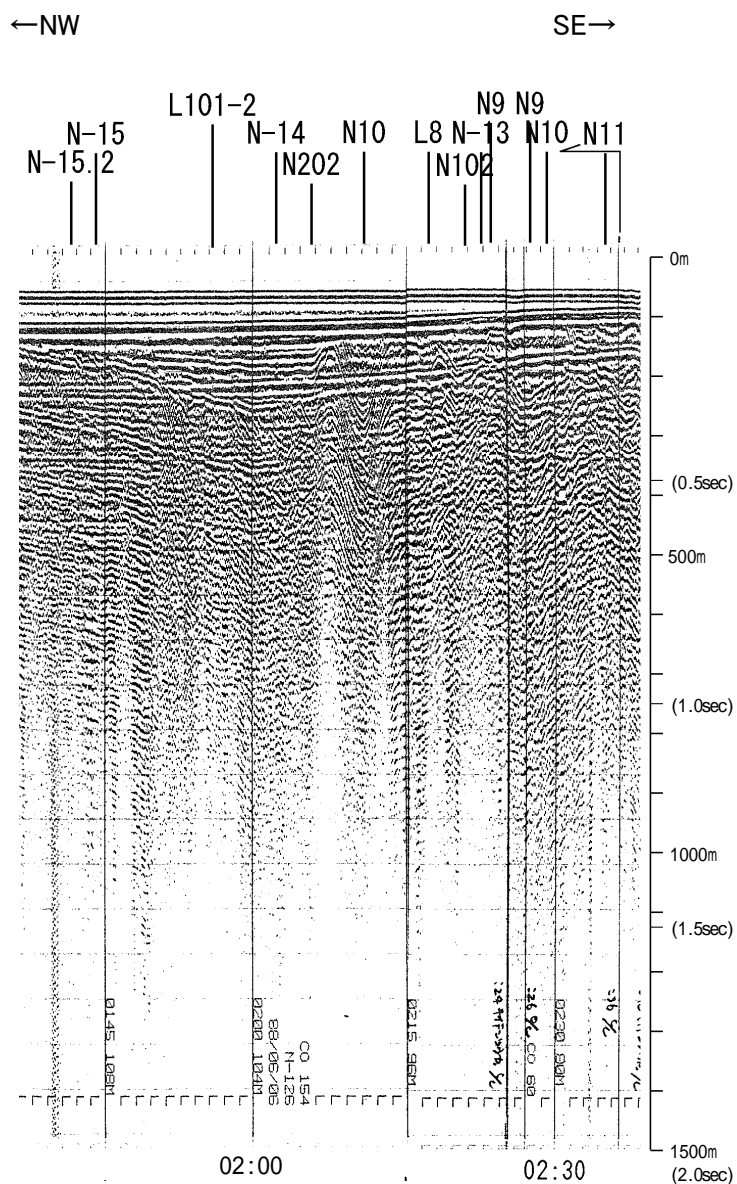


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
前期	B ₃ 層	
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

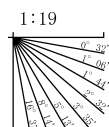


・この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-126



地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B層
	B層
	B層
	B層
前期	C層
	C層
中新世	D層
	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

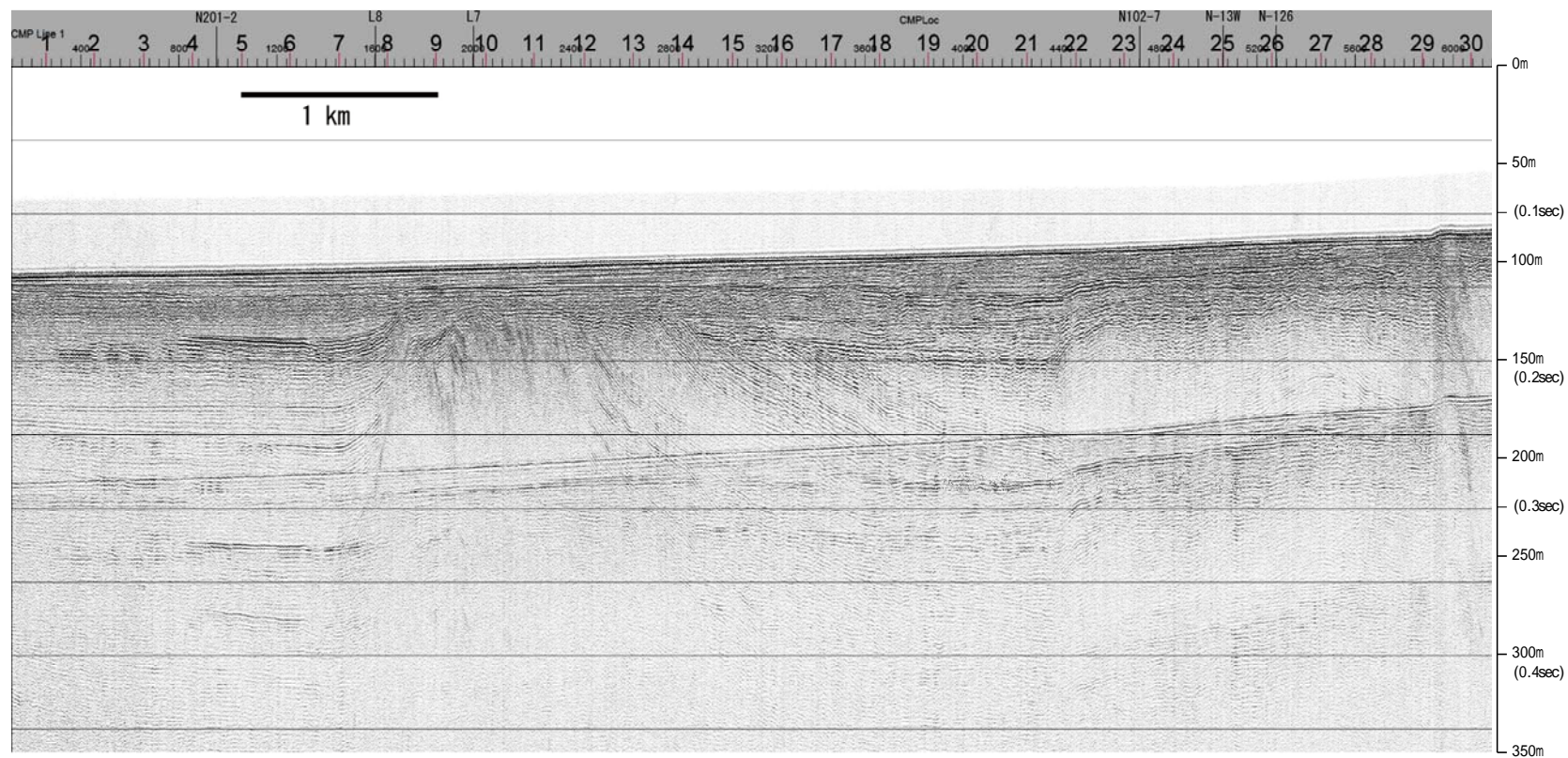


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

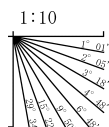
産総研ブーマー N9

←WNW

ESE→



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
第三紀	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
第三紀	先第三紀	D層	



産総研ブーマー N9

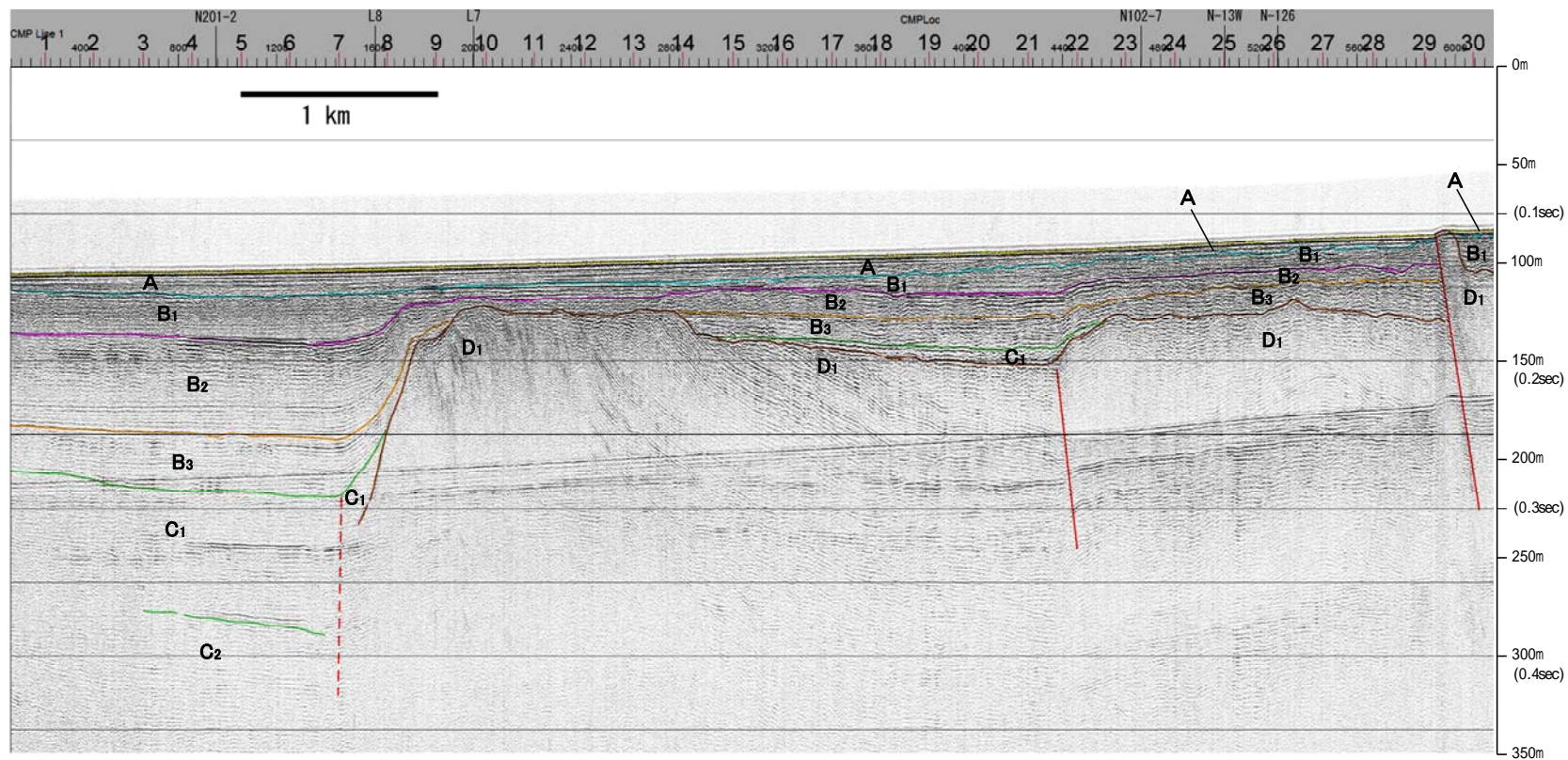
←WNW

ESE→

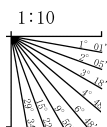
猿山岬北方沖断層



猿山岬北方沖断層

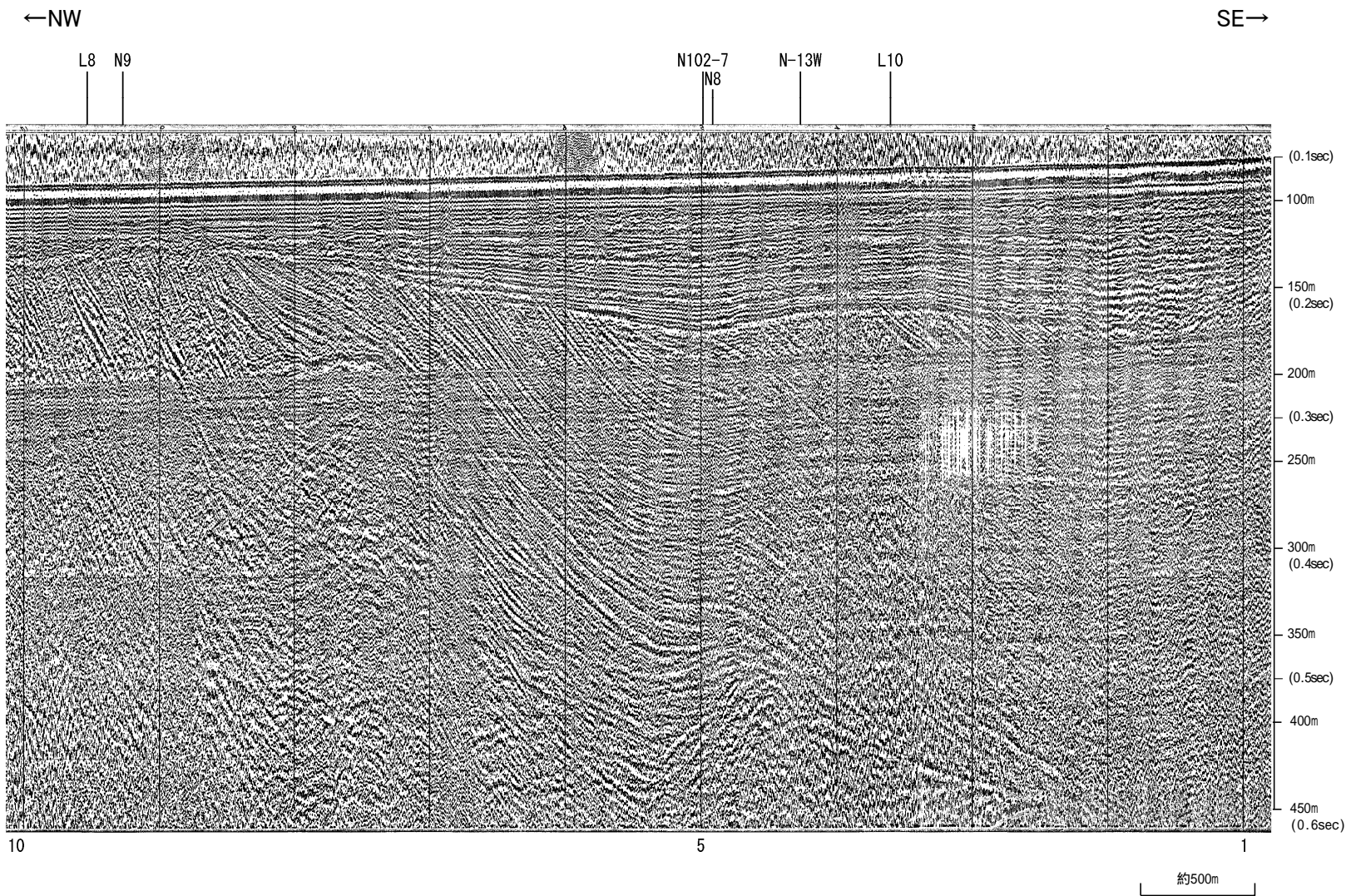


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層	

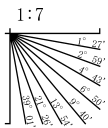


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

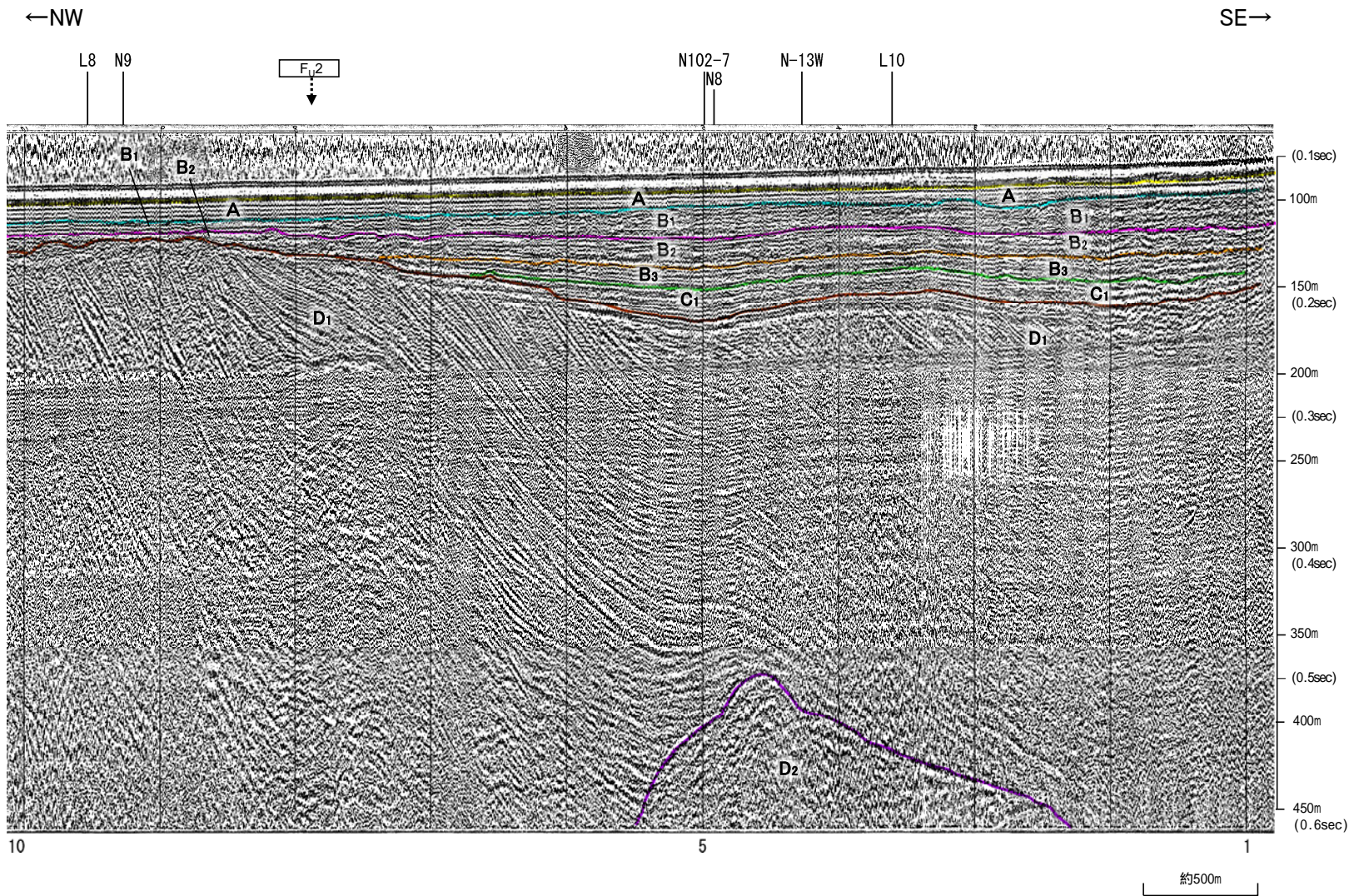
三澤(1997)ウォーターガン L7



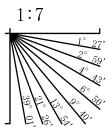
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



三澤(1997)ウォーターガン L7

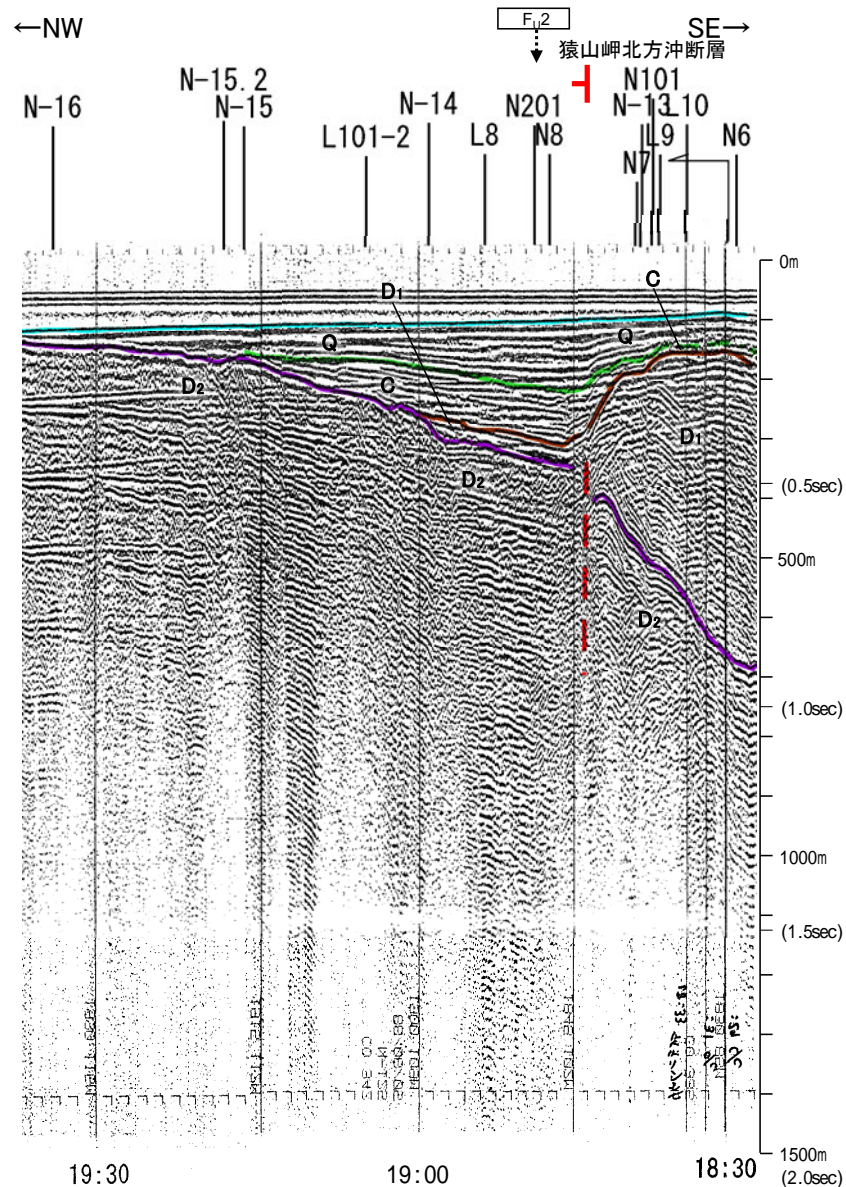
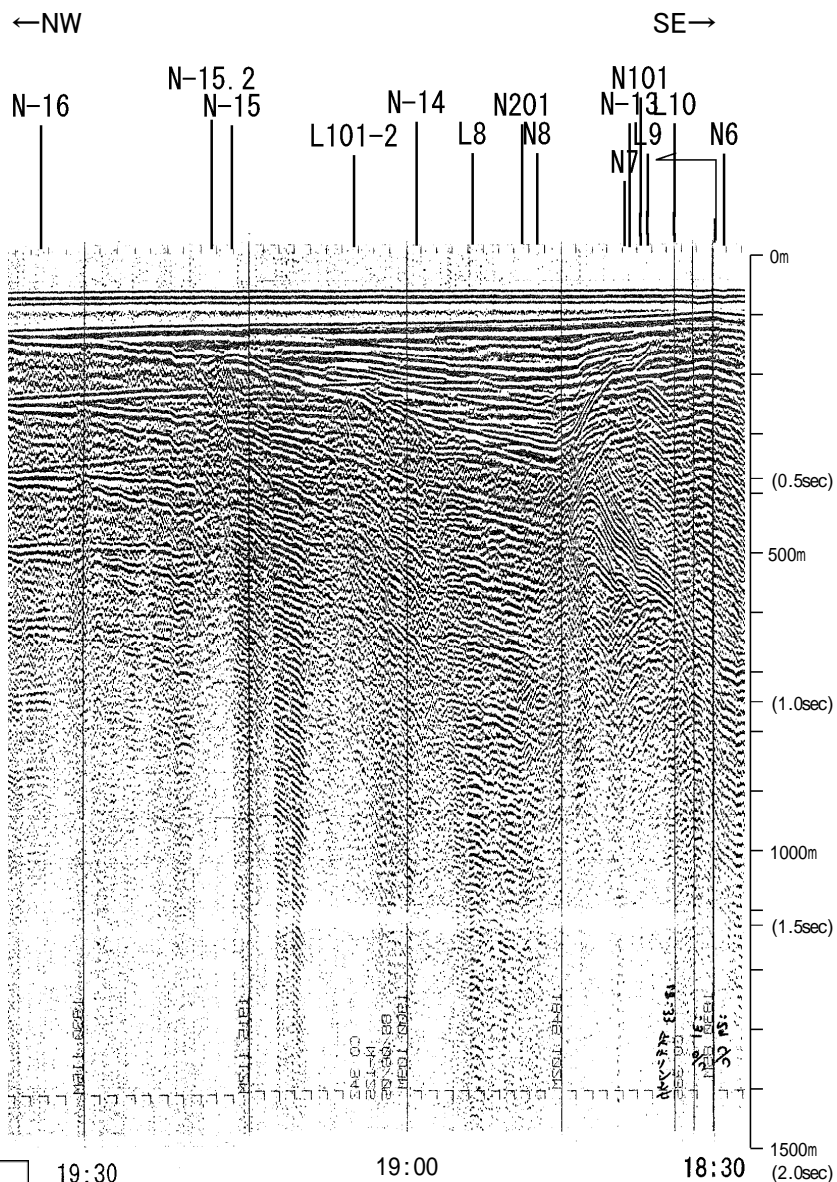


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層



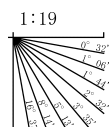
この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-125



地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B層
	B層
	B層
中新世	C層
	C層
古第三紀	D層
	D層
先第三紀	D層

19:30
6/5



約5km

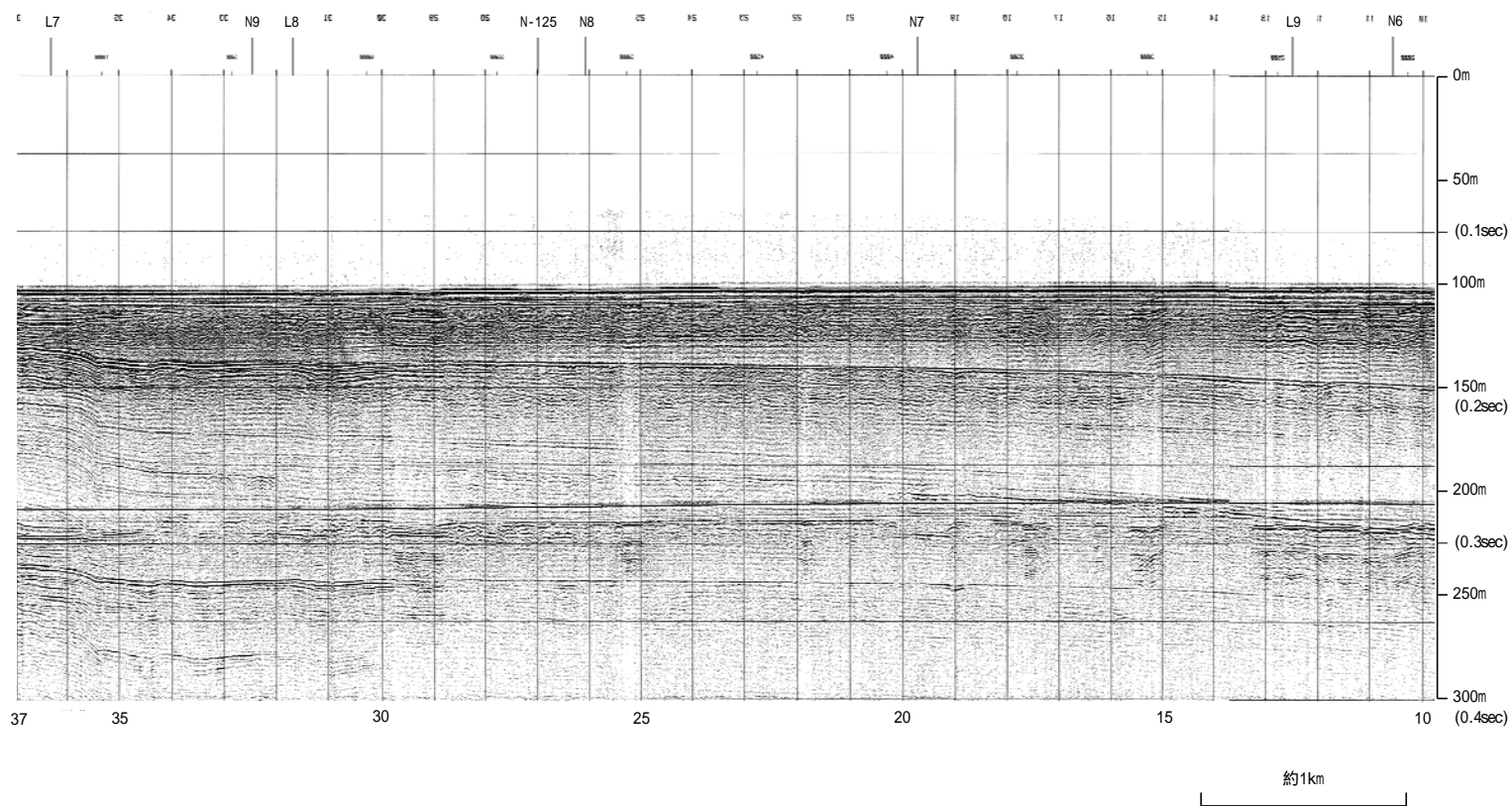
19:30
6/5

約5km

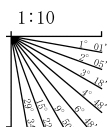
産総研ブーマー N201-2

←NE

SW→



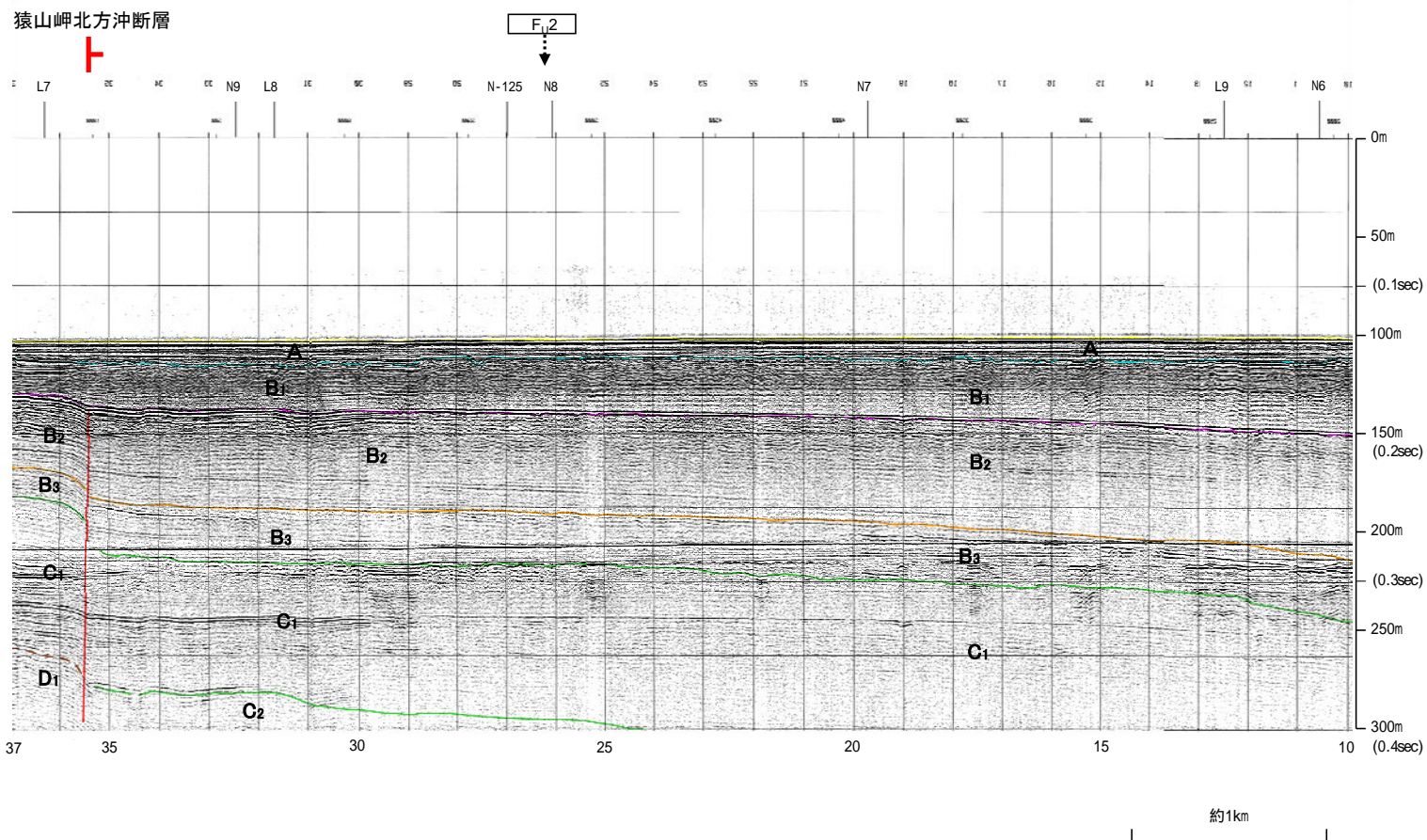
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
	Q層	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



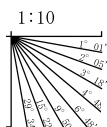
産総研ブーマー N201-2

←NE

SW→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C層
	古第三紀	D層
先第三紀		D ₁ 層

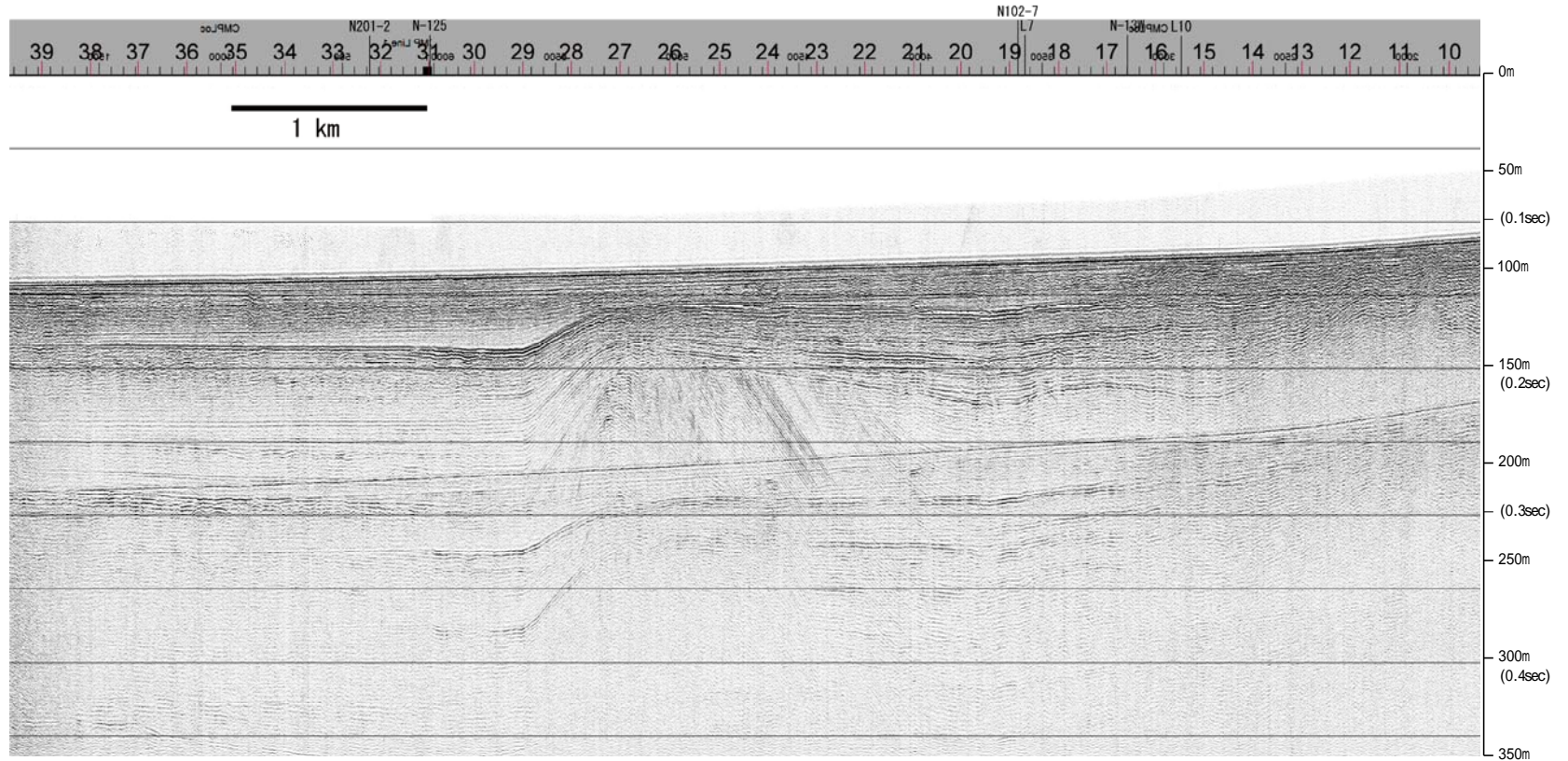


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

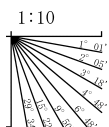
産総研ブーマー N8

←WNW

ESE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
	先第三紀	D層



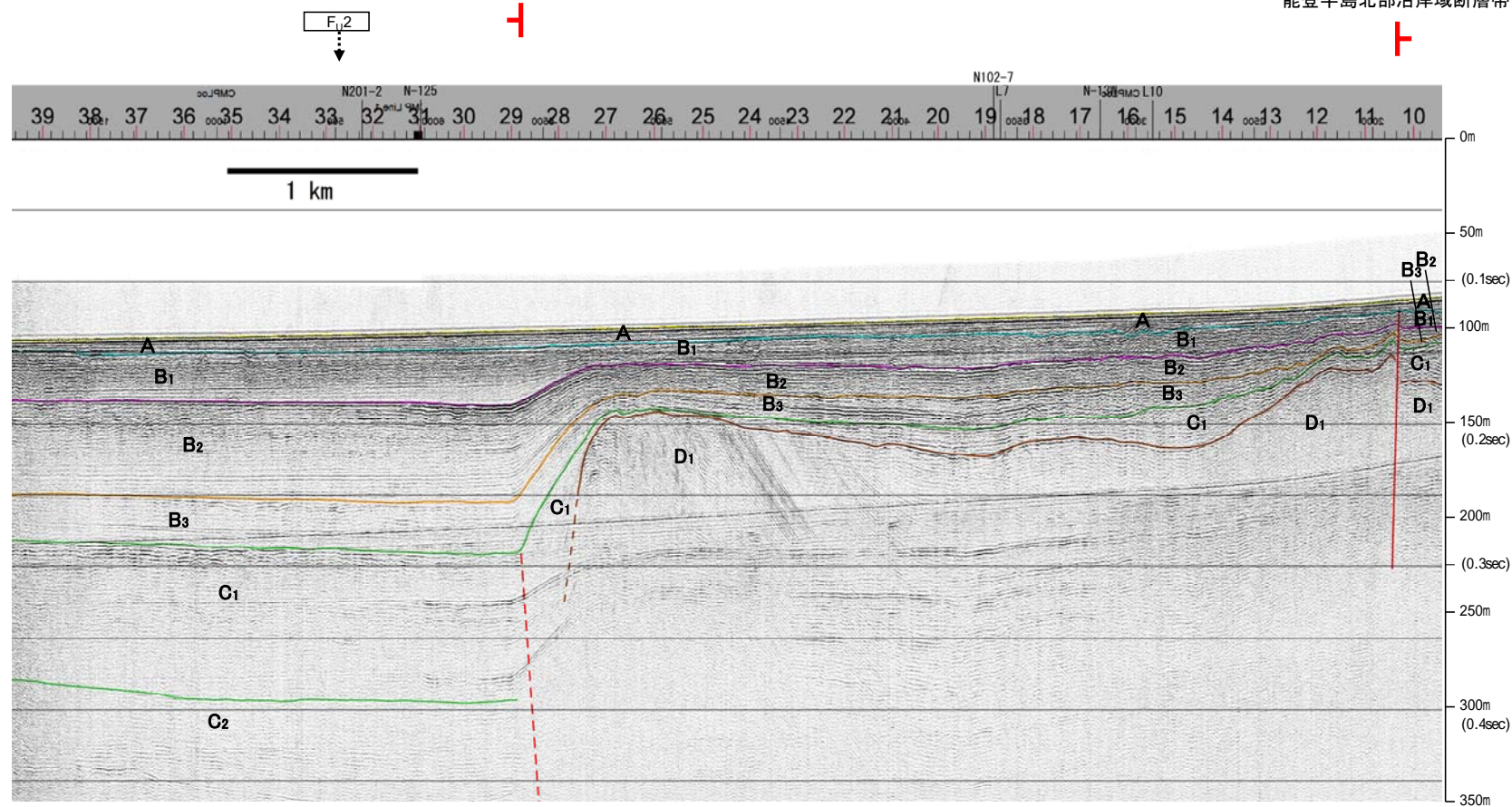
産総研ブーマー N8

←WNW

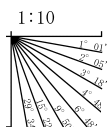
ESE→

猿山岬北方沖断層

能登半島北部沿岸域断層帯

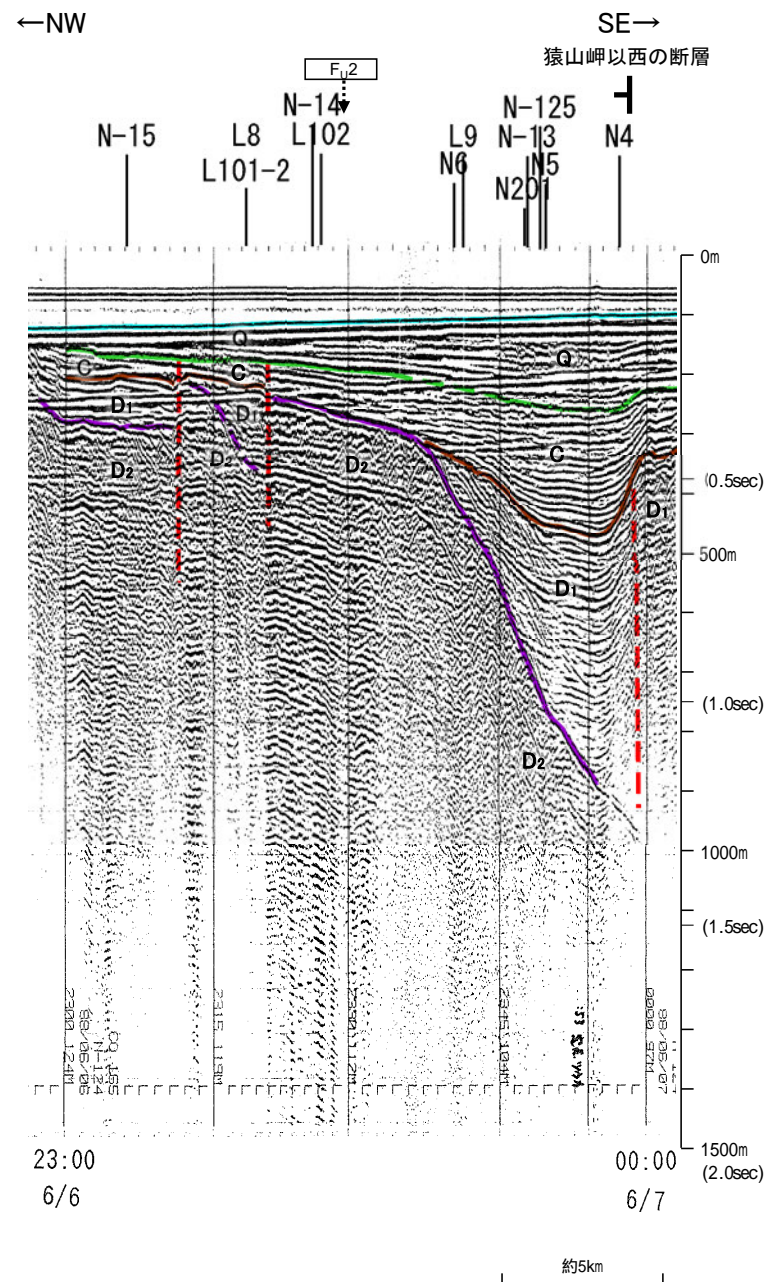
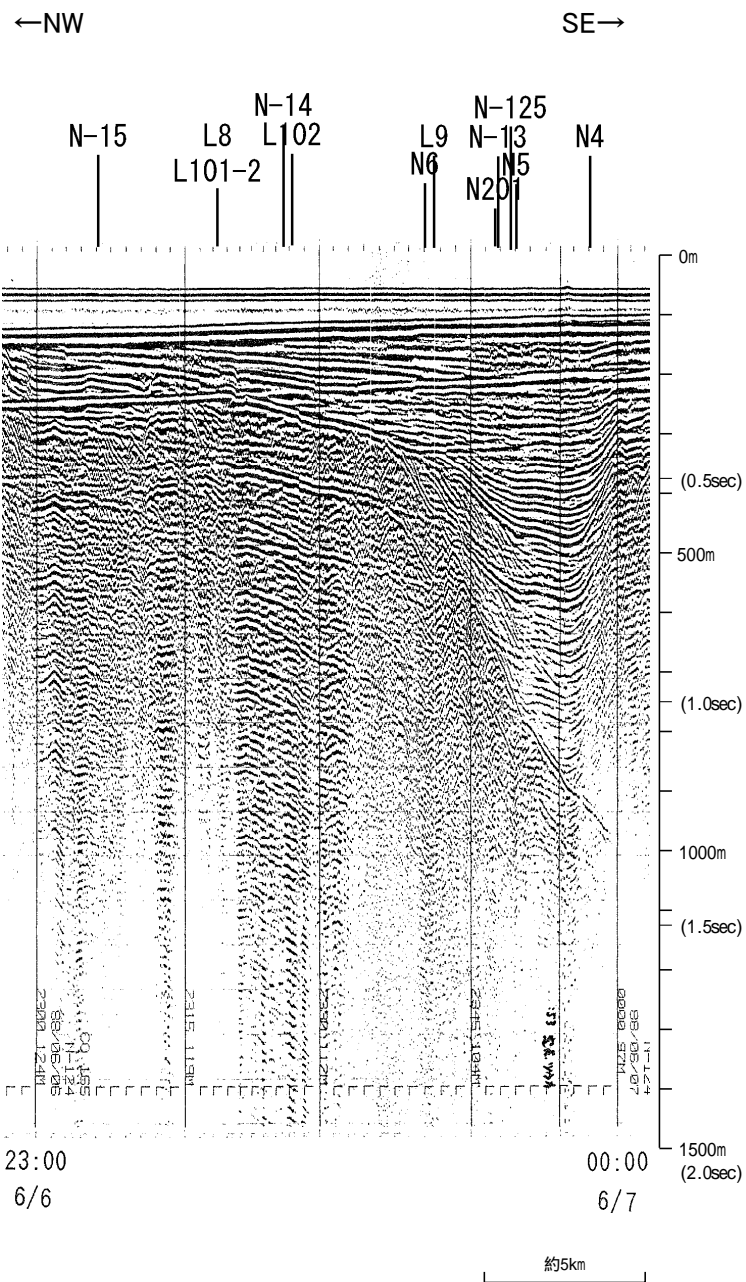


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	古第三紀	C ₂ 層
先第三紀		D ₁ 層
		D ₂ 層

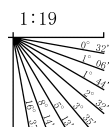


※この図面は、産業技術総合研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-124

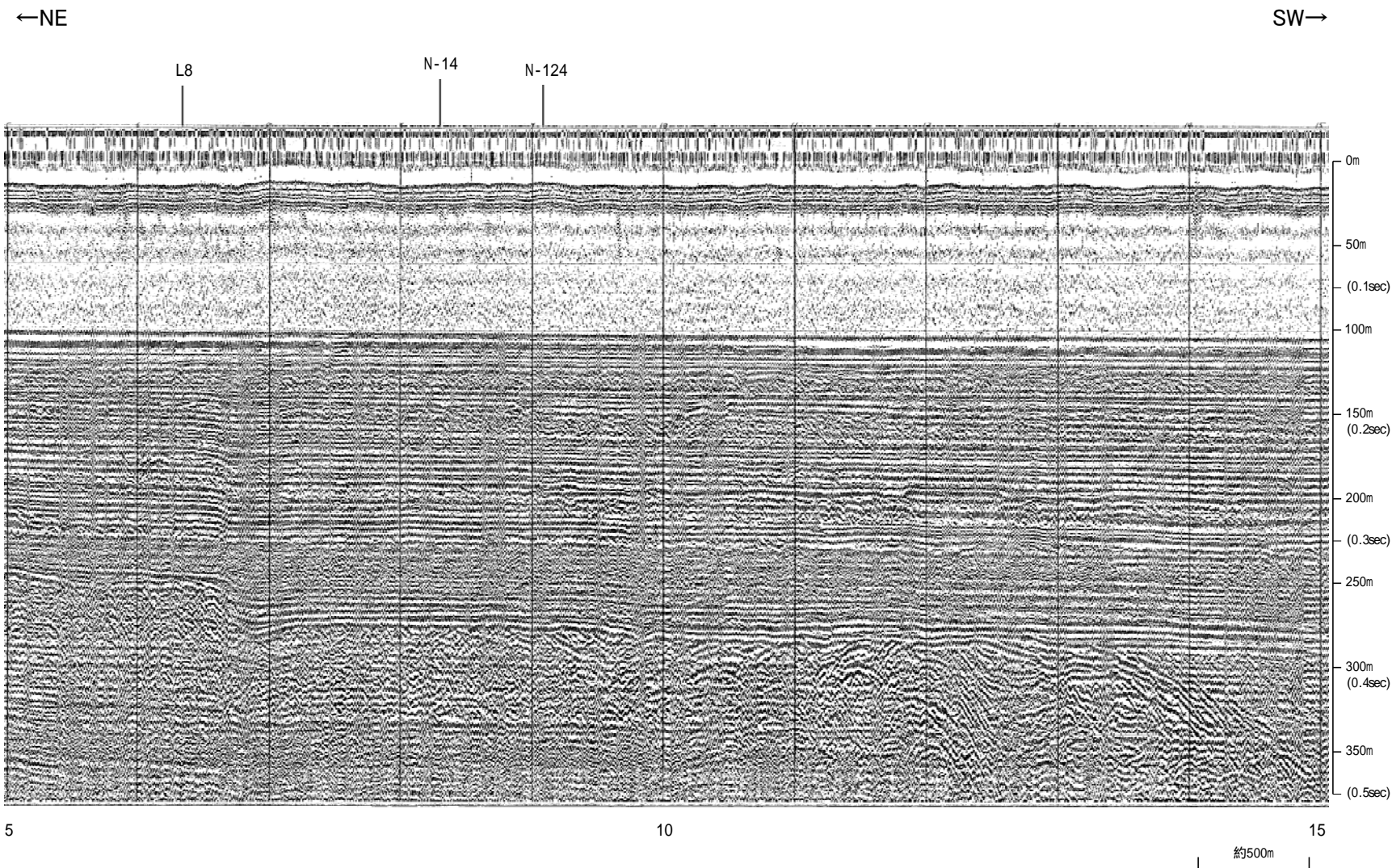


地質時代	地層名
第四紀 更新世	A層
	B層
	B層
	B層
	B層
中新世	C層
	C層
古第三紀	D層
	D層

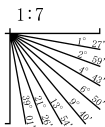


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

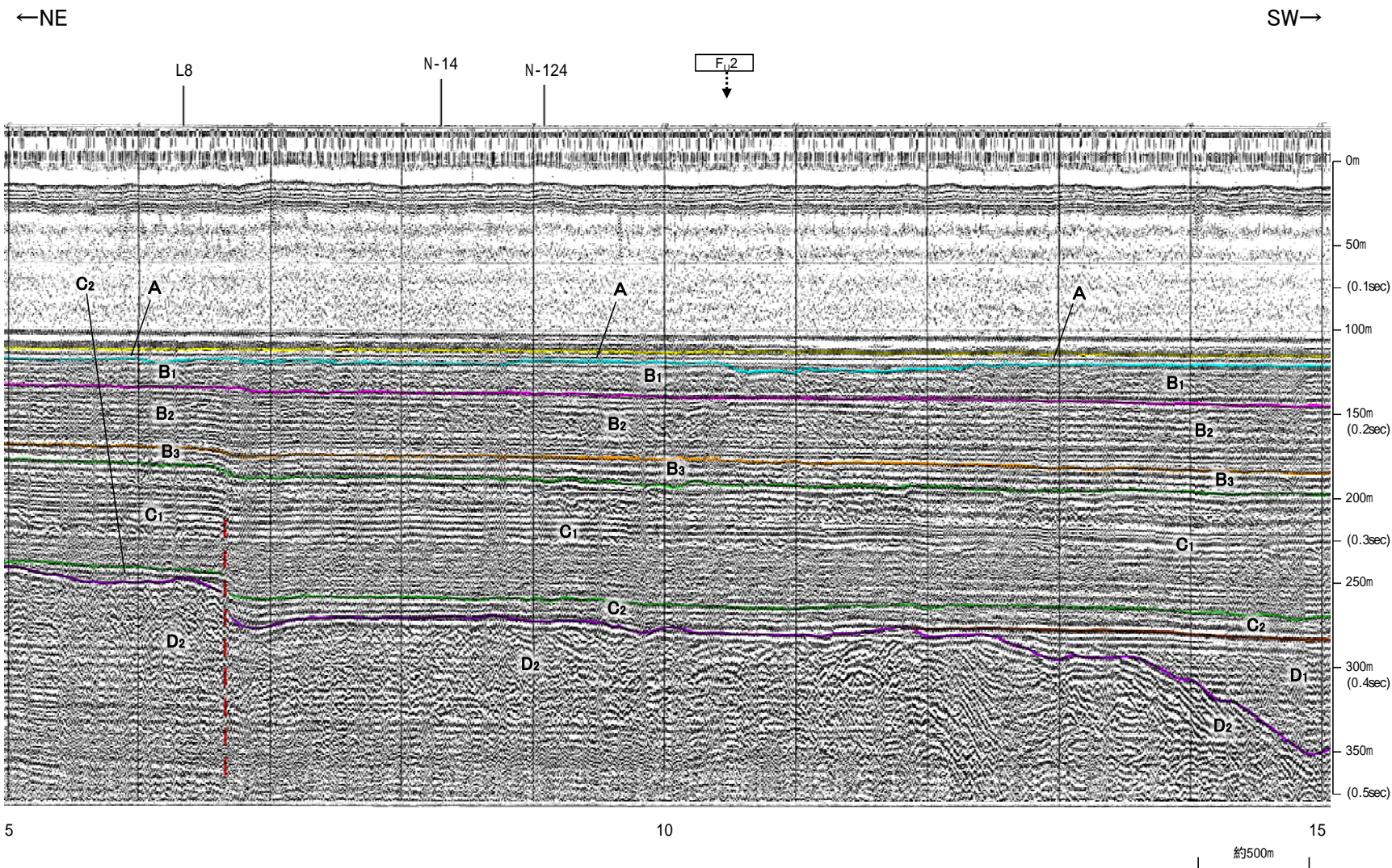
三澤(1997)ウォーターガン L102



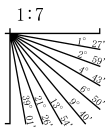
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	更新世	中期	B層
		前期	B層
			B層
全新世	C層		
第三紀	漸新世	C層	
	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D層	



三澤(1997)ウォーターガン L102



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	中新世	C ₂ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層	



この図面は、三澤(1997)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである